



ケーブルコンベンション関連イベント
ケーブル技術ショー
Cable Tech Show 2022

10th
Anniversary



The future starts today!

地域を活かす、未来をつくる、ケーブル原動力

Making the most of the community and creating the future by Cable Dynamics



実施報告書

INDEX

ごあいさつ	3
全体概要	4
来場者数	6
技術展示会会場図	10
技術展示会出展者一覧	11
技術展示会会場写真	12
技術セミナー概要	15
技術セミナー写真	16
技術セミナープログラム	17
主催者テーマ展示コーナー概要	19
主催者企画ブース概要	22
会場内ツアー概要	24
オンライン展示会	26
プレミアムセミナー	28
オンラインテックセミナー	29
テーマ別動画ツアー	36
来場者アンケート集計結果	37
オンライン来場者アンケート集計結果	49

「ケーブル技術ショー2022」を終えて

ケーブルコンベンション関連イベント「ケーブル技術ショー2022」に、多数の皆様のご来場を賜り、厚く御礼申し上げます。ご出展いただいた各団体、各社、関係者の皆様、また、後援していただいた総務省様をはじめ、協賛、協力をいただいた各団体、各社の皆様には深く感謝申し上げます。皆様のおかげをもちまして、「ケーブル技術ショー2022」はコロナ禍で行動が自粛される中、技術展示会には昨年を大きく上回る皆様にご来場いただき、盛況のうちに、そして無事に幕を閉じることができました。ありがとうございました。

“The future starts today ~地域を活かす、未来をつくる、ケーブル原動力”のコンセプトのもと、新型コロナウイルス感染症が再拡大の懸念がある中、安心してご参加いただけるよう様々な感染防止対策を講じた上で、技術展示会を東京国際フォーラム ホールEで7月28日（木）・29日（金）の2日間、オンライン展示会は公式ホームページで7月13日から9月16日の約2か月間開催いたしました。

技術展示会では、ご来場の皆様に最新のケーブル技術、製品、ソリューションなどに触れていただき、出展者から直接、説明を受けるといった従来からの展示会の良さが発揮されました。また、新設した『地域DXゾーン』には、関連する技術やソリューション、サービスなどのご出展をいただき、地域行政機関や、CPS/IoT関係、教育機関等のステークホルダーの方々に向け、ケーブルテレビが創り出す“新しい未来、新しい日常”を紹介いたしました。また、企画コーナでは、ケーブル事業者のご協力によるローカル5G、IoT技術を活用したサービス事例、各種検証事例などを紹介いたしました。

皆様からは、「業界の最新動向を短時間で効率よく把握できた」「現状の課題やその対応について対面で具体的な説明が聴けた」「顧客のニーズ、新製品の評価・反応が確認できた」「多くの業界関係者と情報交換ができたことで非常に成果があった」などの意見が寄せられたほか、技術セミナーでも、今後の業界の方向性や取り組みが理解できたことなど、全体的に高い評価を数多く頂戴いたしました。

日本では人口減少、少子・高齢化による雇用や医療、防災などに大きな影響を及ぼすと言われている2030年問題への対応策として、近年ICTの利活用が促進されています。また、新型コロナウイルス感染症により生活環境、経済活動が大きく変化し、都市規模に関わらず情報インフラの整備、デジタルデバイドの解消が喫緊の課題となっています。このような状況の中、ケーブルテレビサービスは地域の安全・安心を支える地域密着型のインフラとしてだけでなく、「地域DXの担い手」となる大きな役割が期待されています。

今後も当協会では、会員各社、関係団体・機関と連携し、地域DX推進の役割を担うケーブルテレビの更なる発展、信頼性の向上、地域の安心・安全を守るため、CATV 技術者集団として“地域を活かす、未来をつくる、ケーブルテレビ”を技術面からサポートしてまいります。また、ケーブル技術ショーは今後も、ケーブルテレビ業界全体を未来に向けて牽引する展示会として、開催してまいりますので、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス感染症に罹患されるなど、日常生活に大きな影響を受けている方々に心からお見舞い申し上げます。また、新型コロナウイルスと戦っている医療関係者の皆様には心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

皆様のご健勝をお祈りいたしまして、結びの言葉とさせていただきます。

2022年9月
一般社団法人 日本CATV技術協会
理事長 内田 茂之

開催概要

開催テーマ

The future starts today!

地域を活かす、未来をつくる、ケーブル原動力

Making the most of the community and creating the future of Cable Dynamics

全体概要

- 名称： ケーブルコンベンション 2022 関連イベント「ケーブル技術ショー 2022」
Cable Tech Show 2022
- 会期： 技術展示会 2022年7月28日（木） 9:30～18:00 7月29日（金） 9:30～17:00
オンライン展示会 2022年7月13日（水）～9月16日（金）
- 会場： 技術展示会 東京国際フォーラム ホールE
オンライン展示会 ケーブル技術ショー公式ウェブサイト
- 主催： (一社)日本 CATV 技術協会 / (一社)日本ケーブルテレビ連盟 / (一社)衛星放送協会
- 後援： 総務省
- 特別協賛： (一社)日本ケーブルラボ / ケーブルテレビ無線利活用促進協議会 /
(一社)日本コミュニティ放送協会
- 協賛： 情報通信月間推進協議会
- 特別協力： NHK / (一社)日本民間放送連盟 / (一社)放送サービス高度化推進協会
- 協力： 日本テレビ放送網(株) / (株)TBS テレビ / (株)フジテレビジョン / (株)テレビ朝日 /
(株)テレビ東京 / 毎日新聞社 / 読売新聞社 / 日本経済新聞社 / 産業経済新聞社 / 東京新聞 /
共同通信社 / 時事通信社 / (一社)日本経済団体連合会 / (一社)電子情報技術産業協会 /
(一社)電波産業会 / (一社)電気通信事業者協会 / (一社)テレコムサービス協会 /
(一社)日本インターネットプロバイダー協会 /
(一社)コンピュータエンターテインメント協会 / (一財)全国地域情報化推進協会 /
(一財)電波技術協会 (順不同)

技術展示会

会 期： 2022年7月28日（木） 9:30～18:00 7月29日（金） 9:30～17:00
（オンライン展示会 2022年7月13日（水）～9月16日（金））

会 場： 東京国際フォーラム ホールE

入 場 料： 無料（入場登録制）

展示規模： 74社 207小間（うち2社オンライン限定出展）
70ブース（共同出展6ブース）

技術セミナー

会 期： 2022年7月28日（木） 9:30～18:00 7月29日（金） 9:30～16:30

会 場： 東京国際フォーラム ホールE 隣接 セミナー室-1、セミナー室-2

参 加 料： 無料（事前申込制）

開 催 規 模： 15社 22セミナー（主催者セミナー1含む）

ケーブルコンベンション2022

テ ー マ： Jump! for Our Society ～地域とともに、光ある未来へ飛び出そう～

会 期： 2022年7月28日（木）、29日（金）

会 場： 東京国際フォーラム

主 催： 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟／一般社団法人日本CATV技術協会／
一般社団法人衛星放送協会

後 援： 総務省

オフィシャルスポンサー： KDDI株式会社／日本デジタル配信株式会社

特別協賛：（一社）日本ケーブルラボ／ケーブルテレビ無線利活用促進協議会／
（一社）日本コミュニティ放送協会

協 賛： 情報通信月間推進協議会

特別協力： 日本放送協会（NHK）／（一社）日本民間放送連盟／（一社）放送サービス高度化推進協会

協 力： 日本テレビ放送網（株）／（株）TBS テレビ／（株）フジテレビジョン／（株）テレビ朝日／
（株）テレビ東京／毎日新聞社／読売新聞社／日本経済新聞社／産業経済新聞社／東京新聞／
共同通信社／時事通信社／（一社）日本経済団体連合会／（一社）電子情報技術産業協会／
（一社）電波産業会／（一社）電気通信事業者協会／（一社）テレコムサービス協会／
（一社）日本インターネットプロバイダー協会／
（一社）コンピュータエンターテインメント協会／（一財）全国地域情報化推進協会（順不同）

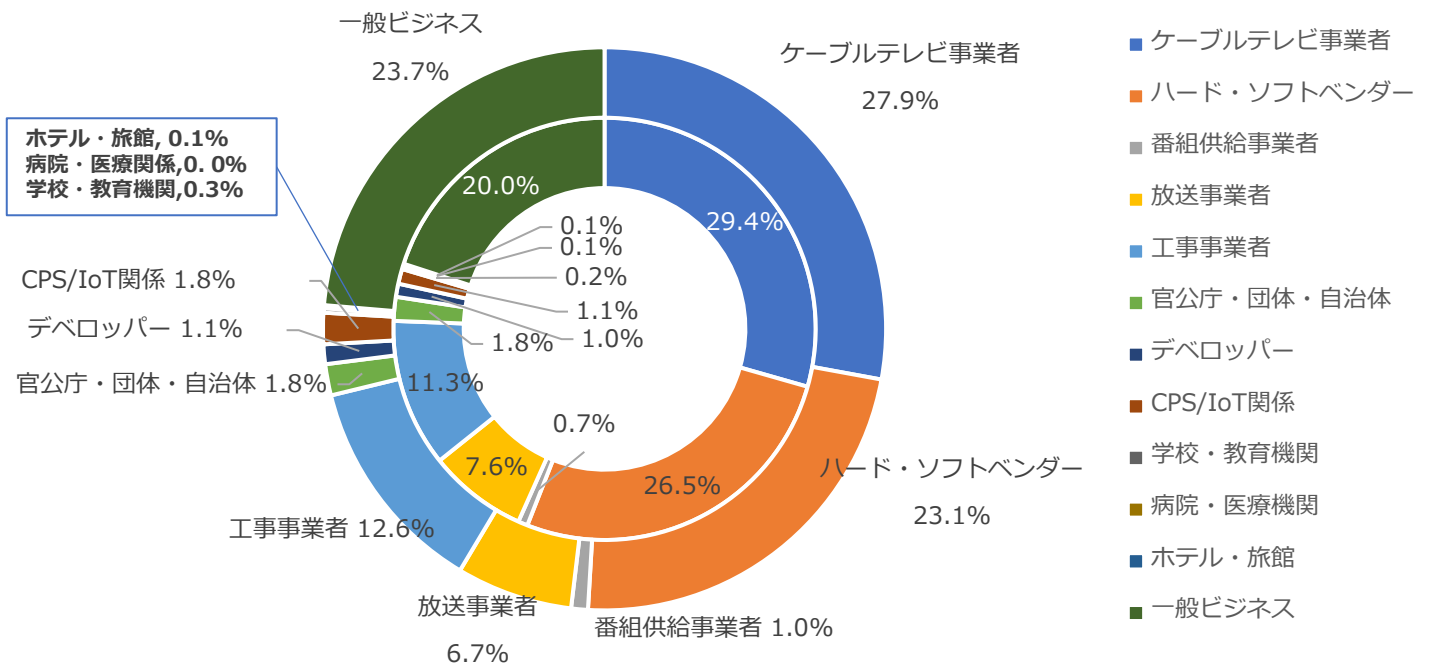
オフィシャルスポンサー： KDDI（株）／日本デジタル配信（株）



オンライン展示会

プログラム	日程	来場者数
オンライン展示会 (延べ)	7月13日(水)～ 9月16日(金)	10,500名
オンラインテックセミナー (延べ)	7月13日(水)～ 9月16日(金)	1,096名
プレミアムセミナー (延べ)	7月13日(水)～ 9月16日(金)	542名

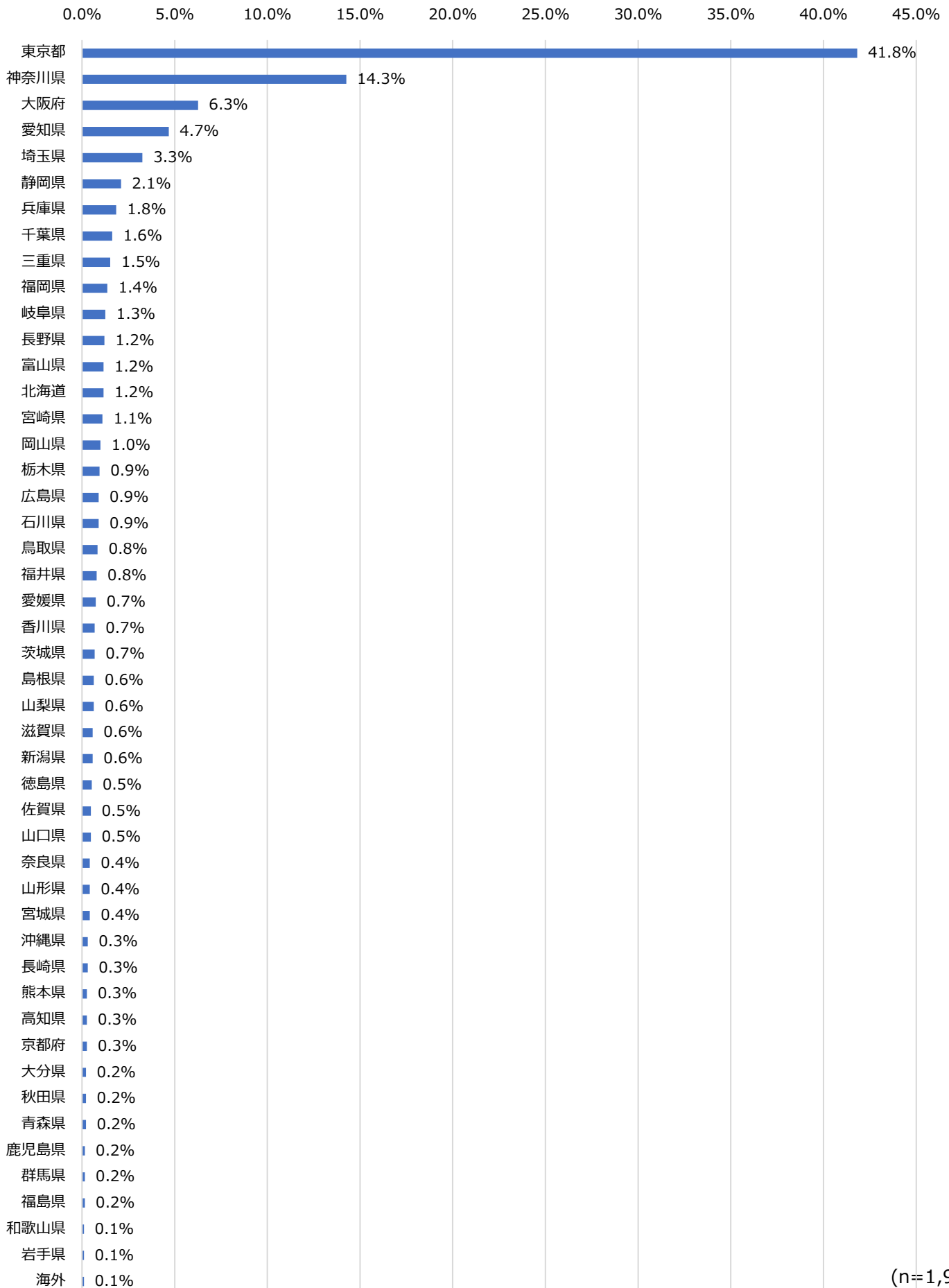
業種別来場者の比率 (外側：2022年・内側：2021年)



来場者数推移



参加エリアの比率



(n=1,903)

オンライン展示会 コンテンツ閲覧・視聴者数

コンテンツ	延べ閲覧数	登録数
パネル	14,930	364点
動画	8,014	87点

パネル閲覧数TOP 5 (延べ・パネル総合計)

出展者名	閲覧数
古河電気工業	1,509
パナソニック コネクト	1,284
関電工	901
NEC ネットエスアイ	801
シンクレイヤ	776

動画閲覧数TOP 5 (延べ・動画総合計)

出展者名	閲覧数
古河電気工業	929
シンクレイヤ	720
パナソニック コネクト	632
NEC ネットエスアイ	583
富士通ネットワークソリューションズ	482

動画ツアー視聴者数 (延べ)

ツアー名 (参加企業・団体)	閲覧数
4K8K最先端ケーブル技術関連ツアー (ミハル通信/古河電気工業)	1 6 2
防災・減災ソリューションツアー (サテライトコミュニケーションズネットワーク /シンクレイヤ /ソニーネットワークコミュニケーションズ /データブロード)	2 0 9
次世代高速通信・大容量化関連ツアー (シンクレイヤ/古河電気工業)	1 1 4
地域DXソリューションツアー (ハイウエアエクス /サテライトコミュニケーションズネットワーク /日本アンテナ/DXアンテナ /ガンスイ/RIEDEL Communications Japan・K.K /ソニーネットワークコミュニケーションズ)	2 2 7
主催者テーマ展示ゾーン・主催者企画ブースツアー (NHK放送技術研究所 /放送サービス高度化推進協会(A-PAB)/日本CATV技術協会 /日本ケーブルテレビ連盟/日本CATV技術協会 /日本ケーブルラボ/IPTVフォーラム /日本ケーブルテレビ連盟/ケーブルテレビ事業者(IoT) /日本ケーブルテレビ連盟/ケーブルテレビ事業者(5G))	3 5 9

技術展示会 出展者一覧

小間番号	会社名
B-31	APRESIA Systems
B-47	アリスタネットワークスジャパン
B-36	伊藤忠ケーブルシステム
B-08	伊藤忠ケーブルシステム/アイテック阪急阪神
B-40	イメージニクス
B-45	VIAVIソリューションズ
B-41	Vecima Solutions
B-27	SCSK
B-13	X-one Technologies
A-08	N E C ネットエスアイ
B-39	NTTエレクトロニクス
S-06	NTT Sportict
S-02	ガンスイ
A-04	関電工
B-12	北村製作所
B-28	クロスイメージング/気象サービス
C-03	サテライトコミュニケーションズネットワーク
B-20	サン電子
B-21	JP NAP/IIJ
A-06	ジャパンケーブルキャスト
C-09.10	主催者企画ブース (JCOM / イッツ・コミュニケーションズ / Goolight / えんがわオフィス)
B-38	ジュニパーネットワークス
B-19	JOHNAN
A-01	シンクレイヤ
B-22	スターデジタル通信
A-09	住友電気工業
B-30	ソニーネットワークコミュニケーションズ
B-29	ダイコー通産
B-14	大電
S-05	中京エレクトロン
B-42	THK
B-10	D X アンテナ
B-06	DTSインサイト
B-46	ティーブイエスネクスト
B-02	データコントロールズ
B-35	データブロード
B-44	東亜ソフトウェア
B-45	東京電機産業
B-37	東神電気
C-05	東洋紡エンジニアリング
B-03	トラフィック・シム
B-07	日本アンテナ
B-26	日本インターネットエクスチェンジ

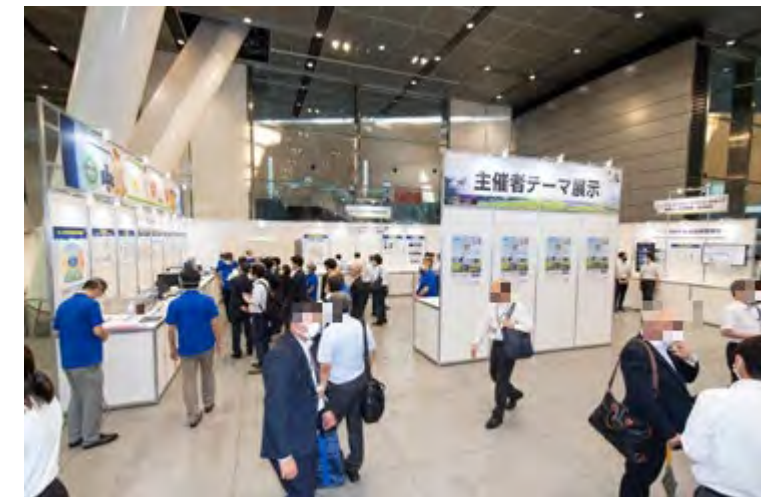
小間番号	会社名
C-07	日本ケーブルテレビ連盟/ケーブルテレビ事業者 (射水ケーブルネットワーク/ZTV/となみ衛星通信テレビ)
C-08	日本ケーブルテレビ連盟/ケーブルテレビ事業者 (ZTV開発実証/となみ開発実証/RWJ/沖縄開発実証/愛媛CATV開発実証)
C-06	日本CATV技術協会
C-02	日本ソフト開発
A-02	日本デジタル配信
オンライン限定出展	日本ワムネット
B-01	ニューメディア
B-24	ネクストキャディックス
B-25	ネットセーブ
B-43	ノキアソリューションズ&ネットワークス
C-04	ハイウエアエクサ
B-18	バッファロー
A-10	パナソニック コネクト
B-05	VeEX/メインテクノロジー/イスマ設備設計
B-34	ビデオトロン
B-23	BBIX
A-05	華為技術日本
B-04	フォーティネットジャパン
S-04	フジクラ
オンライン限定出展	富士通ネットワークソリューションズ
A-07	古河電気工業
C-01	ブレーンズ・システム
B-32	朋栄
B-16	マスプロ電工
S-03	まほろば工房
B-15	三菱電機
A-03	ミハル通信
B-33	MEDIAEDGE
B-09	リーダー電子
S-01	RIEDEL Communications Japan
B-17	Ruijie Networks Japan
B-11	ロジネットサービス

主催者テーマ展示コーナー

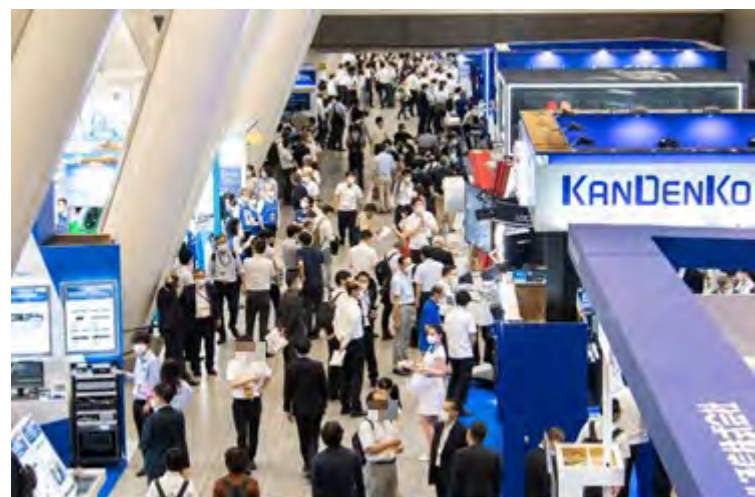
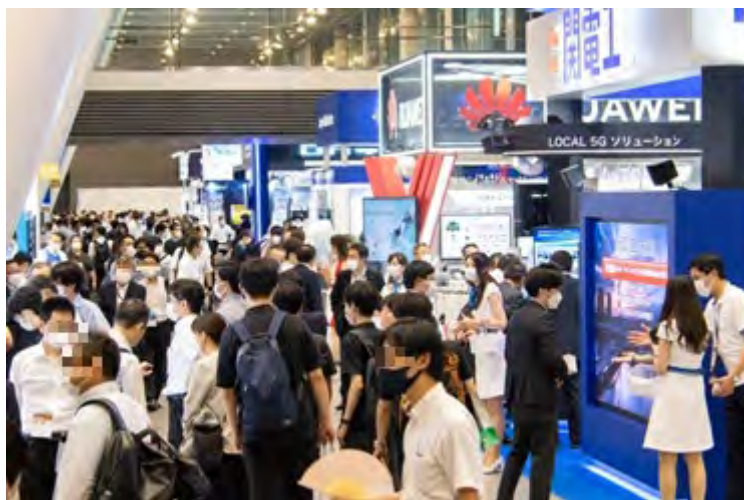
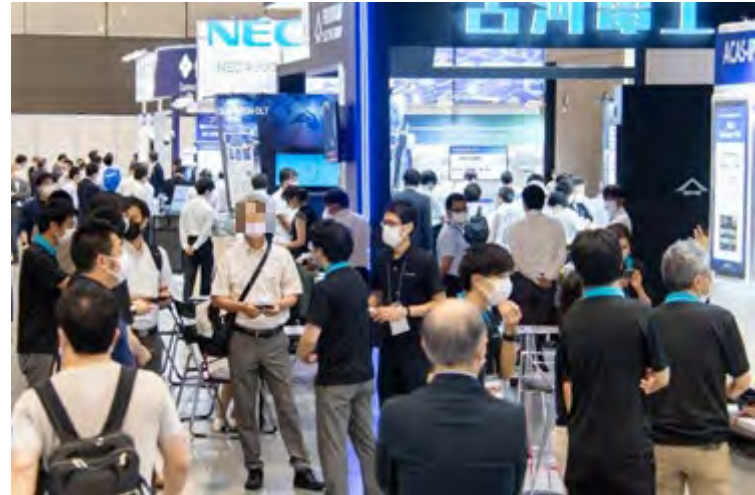
O-01	NHK放送技術研究所
O-02	放送サービス高度化推進協会 (A-PAB) / 日本CATV技術協会
O-03	日本ケーブルテレビ連盟/日本CATV技術協会
O-04	日本ケーブルラボ
O-05	IPTVフォーラム

(五十音順)

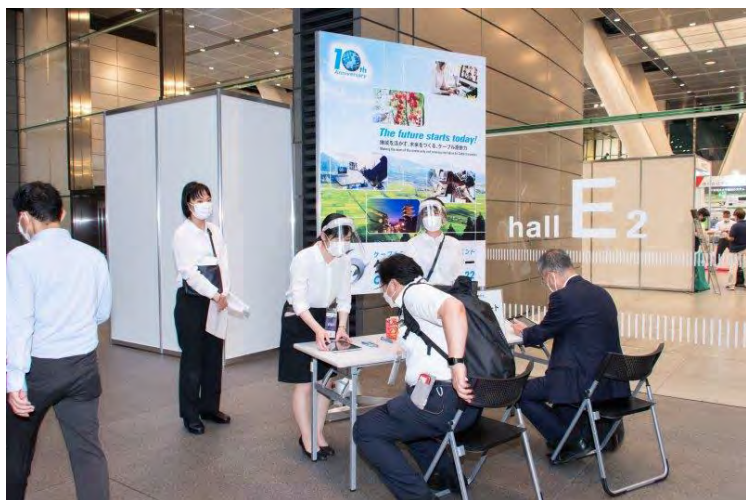
技術展示会 会場写真



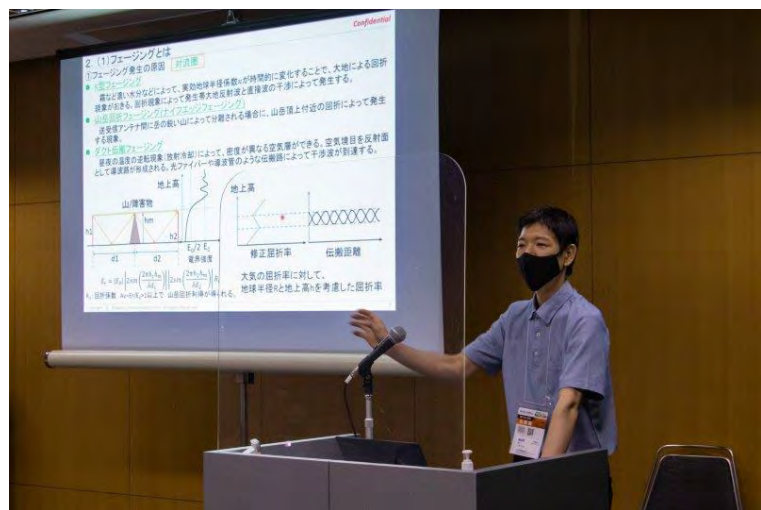
技術展示会 会場写真



技術展示会 会場写真 (感染症対策)



技術セミナー 写真



7月28日 (木)

Time	セミナー室①	セミナー室②
09:30 ～ 10:30	<p>【1-A】 小間No.B-01</p> <p>ニューメディア</p> <p>【コミチャンIP配信と新たな顧客接点の創出】</p>	<p>【2-A】 小間No.A-09</p> <p>住友電気工業</p> <p>【ヘッドエンドソリューションのご紹介とIP放送の取り組み】</p>
11:00 ～ 12:00	<p>【1-B】 小間No.A-05</p> <p>華為技術日本</p> <p>【Huawei 50G PONご紹介】</p>	<p>【2-B】 小間No.A-10</p> <p>パナソニックコネクト</p> <p>【ケーブルテレビ放送の今後とデータ活用への取り組み】</p>
12:30 ～ 13:30	<p>【1-C】 小間No.B-45</p> <p>VIAVIソリューションズ アプリケーションエンジニア 酒井 顕 氏</p> <p>【地域BWAやローカル5Gの運用保守に不可欠な監視と測定について】</p>	<p>【2-C】 小間No.A-01</p> <p>シンクレイヤ</p> <p>【DXに向けてのネットワーク構築～最新のFTTHソリューション～】</p>
14:00 ～ 15:00	<p>【1-D】 小間No.A-07</p> <p>古河電気工業 ブロードバンドソリューション事業部門ブロードバンドシステム部システム開発課課長 松本 卓三 氏</p> <p>【次世代CATVシステム開発の取り組み】</p>	<p>【2-D】 小間No.B-36</p> <p>伊藤忠ケーブルシステム</p> <p>【XGS-PONの最新動向の紹介と今後起こる社会変容】</p>
15:30 ～ 16:30	<p>【1-E】 小間No.A-05</p> <p>華為技術日本</p> <p>【TTH化における低コストのODNアーキテクチャーと製品】</p>	<p>【2-E】 小間No.B-23</p> <p>BBIX カスタマーソリューション本部 国内SP部 SE課 市橋 正樹 氏</p> <p>【超トラフィック爆発時代!!コスト・品質最適化のためのIX接続入門】</p>
17:00 ～ 18:00	<p>【1-F】 小間No.A-03</p> <p>ミハル通信</p> <p>【フェージング対策に最適な選択ダイバーシティ地デジSP&最新ソリューション】</p>	<p>【2-F】 主催者セミナー</p> <p>SVP/CTIO SCTE 17:0018:30 Chris Bastian 氏 逐次通訳</p> <p>【米国の10Gネットワークとその活用先端サービス】</p> <p>※Zoom登壇 ※90分セミナー</p>

: オープンセミナー : プライベートセミナー

7月29日 (金)

Time	セミナー室①	セミナー室②
09:30 ～ 10:30	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">小間No.B-23</div> 【1-G】 BBIX カスタマーソリューション本部 国内SP部 SE課 市橋 正樹 氏 【超トラフィック爆発時代!!コスト・品質最適化のためのIX接続入門】	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">小間No.B-04</div> 【2-G】 フォーティネットジャパン サービスプロバイダービジネス本部 技術部 プリンシパルシステムエンジニア 田山 信行 氏 【FortiGateによるハイパースケールCGNソリューション】
11:00 ～ 12:00	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">小間No.B-31</div> 【1-H】 APRESIA Systems Virtual 10G-PONプロジェクト マネージャ 深谷 武史 氏 【APRESIA Systems Virtual 10G-PONご紹介】	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">小間No.A-03</div> 【2-H】 ミハル通信 【フェージング対策に最適な選択ダイバーシティ地デジSP&最新ソリューション】
12:30 ～ 13:30	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">小間No.A-01</div> 【1-I】 シンクレイヤ 【DXに向けてのネットワーク構築～最新のFTTHソリューション～】	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">小間No.B-08</div> 【2-I】 伊藤忠ケーブルシステム/アイテック阪急阪神 アイテック阪急阪神株式会社 iPCOセンター長 山根 愛 氏 【新コールセンター「i-TEC Prime Center Osaka」始動!】
14:00 ～ 15:00	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">小間No.A-07</div> 【1-J】 古河電気工業 ブロードバンドソリューション事業部門ブロードバンドシステム部システム開発課課長 松本 卓三 氏 【次世代CATVシステム開発の取り組み】	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">小間No.B-45</div> 【2-J】 VIAVIソリューションズ アプリケーションエンジニア 酒井 顕 氏 【地域BWAやローカル5Gの運用保守に不可欠な監視と測定について】
15:30 ～ 16:30	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">小間No.A-08</div> 【1-K】 NECネットエスアイ 【NECネットエスアイの地域DXを活用したまちづくりへの取り組み・ローカル5Gの活用事例 など】	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">小間No.A-09</div> 【2-K】 住友電気工業 【ヘッドエンドソリューションのご紹介とIP放送の取り組み】

: オープンセミナー : プライベートセミナー

展示概要

テーマ展示コーナーでは、映像配信、運用保守、サービスに関する次世代ケーブル技術の紹介や、放送・通信連携サービス、新4K8K衛星放送受信技術関連に加えて、ローカル5Gの取り組みや地域DXの実証事例の紹介など、ケーブル技術の最新動向をわかりやすく紹介しました。

①視聴データの新しい管理・活用方法を研究しています [協力：NHK放送技術研究所]

NHK放送技術研究所では、放送サービスをより身近で便利にするために、個々の視聴者に寄り添ったサービスを安心して利用していただくための研究を進めています。視聴履歴など個人のデータ（パーソナルデータ）を視聴者自身が保持・管理することでプライバシーを維持したまま、個人に合ったサービスを実現する技術を紹介します。

②集合住宅への4K8K導入選択肢、電波漏えいとは？

[協力：放送サービス高度化推進協会（A-PAB）／日本CATV技術協会]

新4K8K衛星放送は2018年12月1日から本放送を開始し、すでに視聴可能な受信機器台数は1290万台を突破しました。（2022年5月末時点）4Kまたは8Kテレビを購入後、すべての新4K8K衛星放送を視聴するには「視聴環境」を整える必要があります。

当ブースでは、既設の集合住宅に新4K8K衛星放送を導入するための「6つの選択肢」のほか、導入時に注意すべき「電波漏えい対策」について、わかりやすく解説します。

③地中化・共架WGが取り組む無電柱化への対応活動

[協力：日本ケーブルテレビ連盟／日本CATV技術協会]

国交省の国道技術施策総合技術研究所が、無電柱化の経験がない、または豊富ではない市区町村の担当者向けに策定された「無電柱化事業における合意形成の進め方ガイド」に、NTTと共同提案した引き込み管路の1管共用方式が採用され、無電柱化工エリアにおける新たな加入者への引込工事コストと工事期間の短縮が図られるようになります。

④日本ケーブルラボの調査研究・開発した、次世代ケーブル技術を紹介 [協力：日本ケーブルラボ]

日本ケーブルラボが調査研究・開発した次世代ケーブル技術のうち、ローカル5Gを活用した次世代配信技術として、ローカル5GによるIP放送技術、および運用保守の高度化技術として、PON仮想化技術、宅内Wi-Fiリモート保守技術を展示します。

①PON仮想化技術：PONの運用保守の自動化を目指すVOLTHA(Virtual OLT Hardware Abstraction)技術と、ラボが実施したE-PONとG-PONの一元管理基本機能の評価試験結果を中心に紹介。

②宅内Wi-Fiリモート保守技術：ケーブルテレビ利用者宅内のWi-Fiルータの動作状況や設定情報をコールセンターなど遠隔地からモニターし、設定情報の変更や再起動が可能になる保守システムを紹介。

③ローカル5GによるケーブルIP放送技術：IP配信方式と5Gのプロードキャスト配信（MBMS：Multimedia Broadcast and Multicast Service）を組み合わせ、ラボが策定したローカル5Gによる効率的なIP放送伝送を実現する適応型MBMSモデルシステムと、その動作検証システムを紹介。

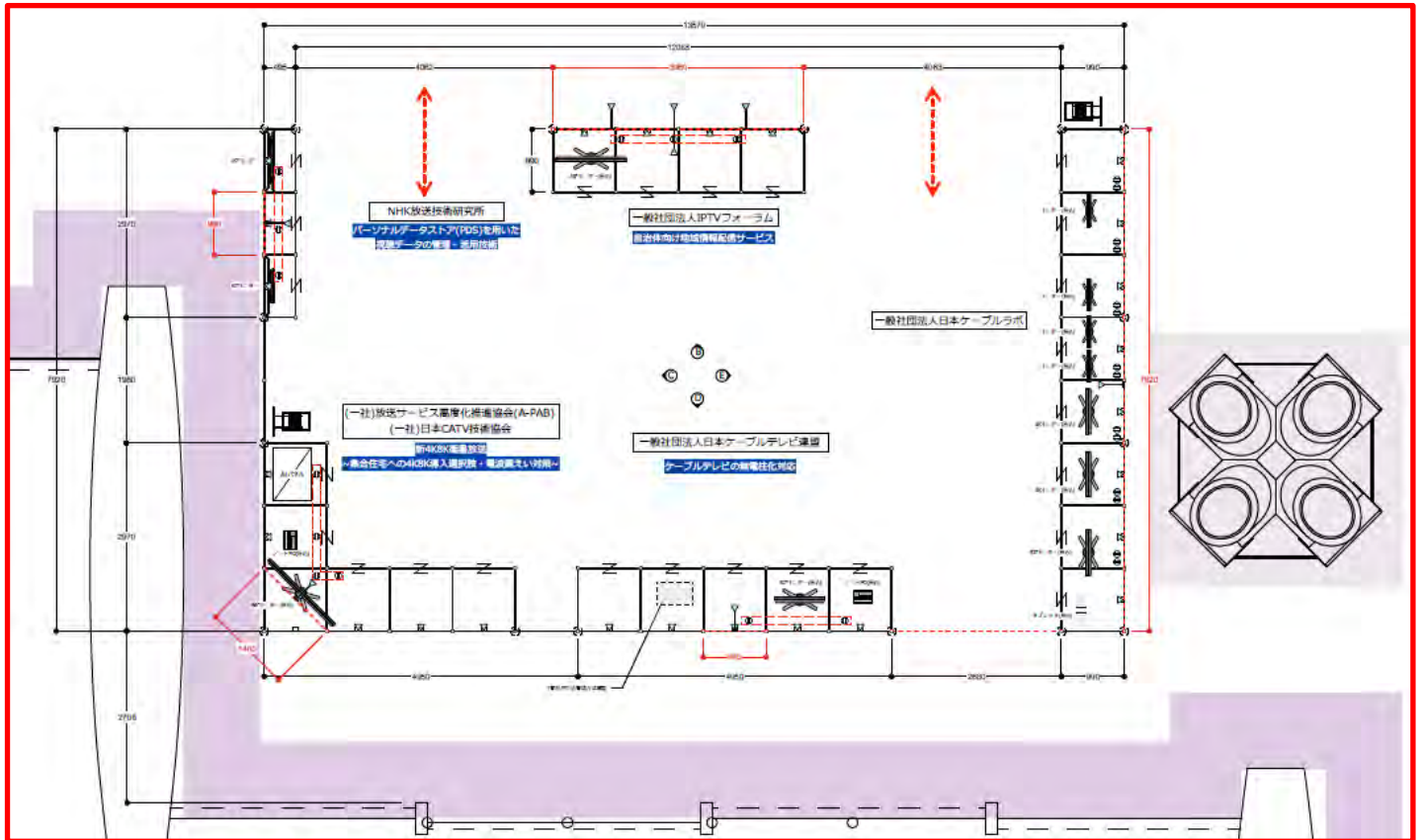
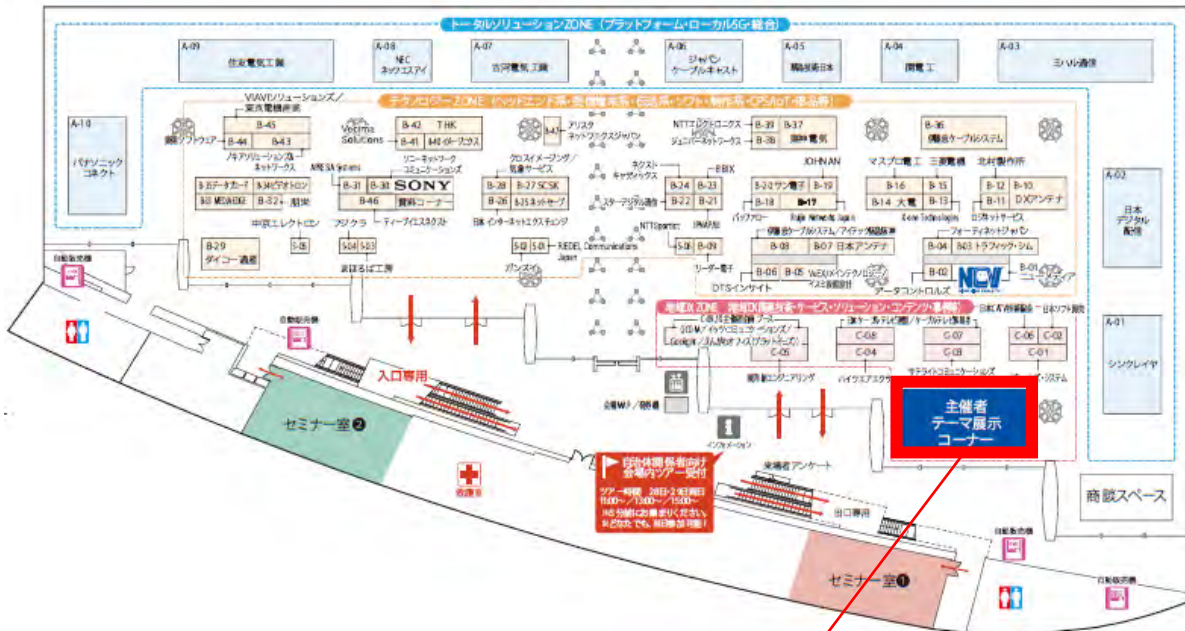
⑤テレビを活用した自治体向け地域情報配信サービス [協力：IPTVフォーラム]

屋外スピーカーなどで町の防災情報配信している地域では屋内だと聞こえづらい等課題があり、自治体様での機器のリプレイスにもかなりの費用が発生します。また広報誌等の紙媒体での地域情報配信は、即時性がなく、コストもかかります。

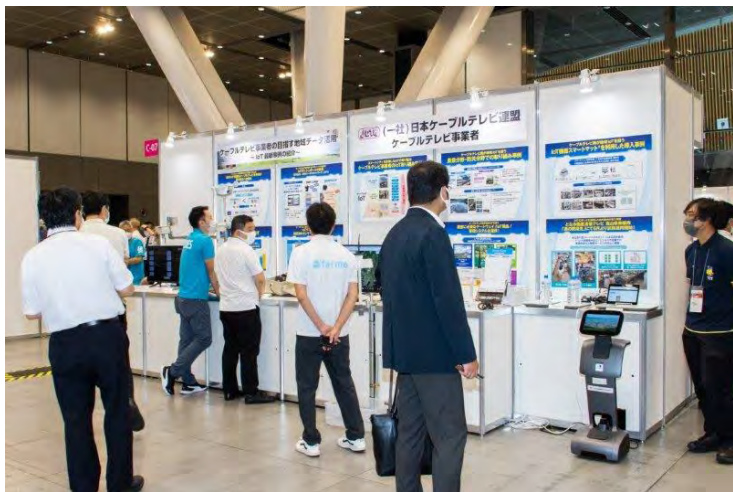
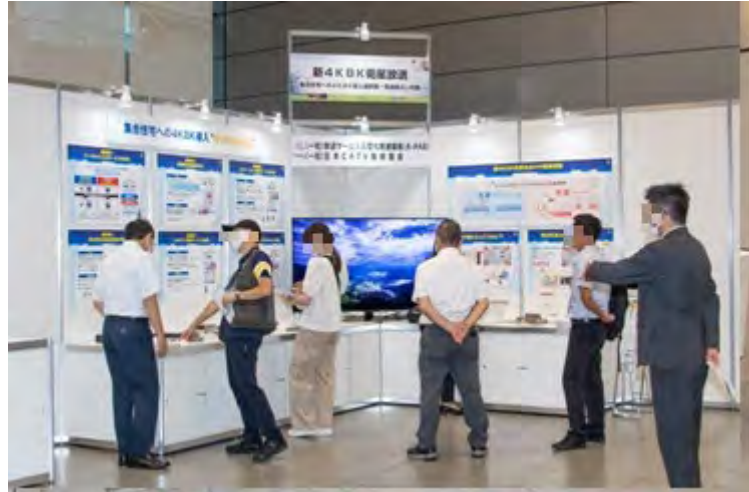
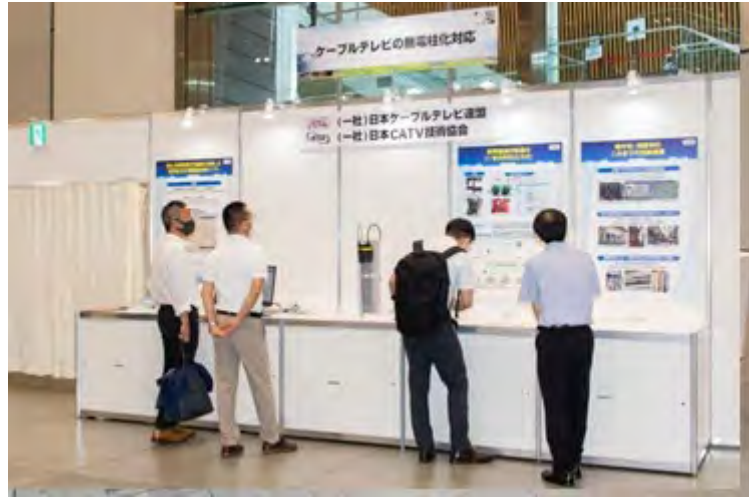
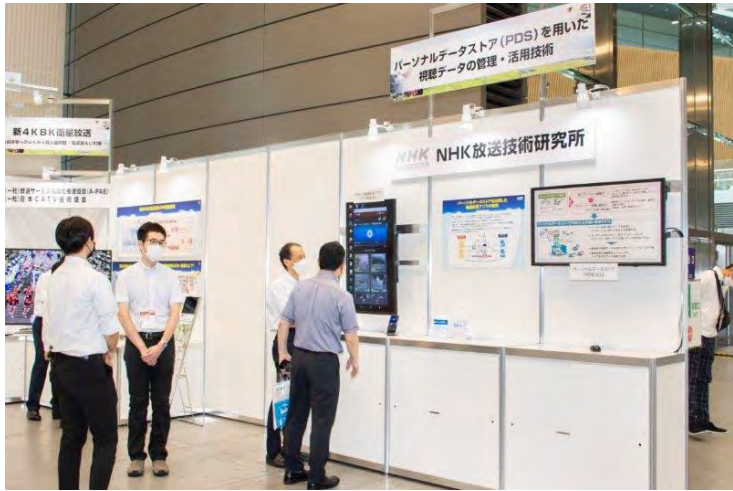
本サービスではテレビを活用して情報配信を行うことで、住民へ即時情報の伝達が可能となり、自治体様は環境構築するためのハードウェアやネットワーク構築のコストも抑えることができます。またHybridcastサービスは大容量、高精細、双方向での情報配信が可能のため自治体・地域・住民が相互に繋がる環境と知りたい情報が各自宅で取得できる環境のご提供が可能です。

主催者テーマ展示コーナー 概要

位置図



主催者テーマ展示ゾーン 写真



展示概要

①C-07 日本ケーブルテレビ連盟／ケーブルテレビ事業者 (IoT)

地域IoTを実現するケーブルテレビ事業者向けの「IoTダッシュボード」サービスをご紹介します。地域IoTは地域の放送・通信事業者であるケーブルテレビ事業者が、これからの地域社会において取り組むべき重要テーマの一つです。河川の水位や道路の積雪状況、堆積物、建物内のCO2濃度など、地域におけるデータの可視化ニーズが高まっています。これらの可視化サービスを実現するために必要なセンサー、通信網、データ基盤、直感的にわかりやすいWeb画面を一括でご提案します。これにより、日本ケーブルテレビ連盟の正会員オペレータ事業者は、スピーディに低コストでIoTサービスを実現し、地域の自治体等に提供することが可能となります。

②C-08 日本ケーブルテレビ連盟／ケーブルテレビ事業者 (5G)

【日本ケーブルテレビ連盟】

ケーブルテレビ業界が進める業界連携による取り組みとして、無線利活用の推進、業界統一コアの特徴についてご紹介いたします。ローカル5Gの導入については地域の実情に応じて、実証や導入が全国の地域で進んでおります。ケーブルテレビ業界でも固定系サービスとケーブルテレビの強みである地域密着を活かして無線サービスを積極的に展開していく時期にあります。現在、有線無線の融合が進み通信市場の競争は激しさを増しております。規模に劣るケーブルテレビが戦うためには業界連携をして競争力を高めていく必要があります。ケーブルテレビ連盟では無線利活用委員会にて戦略を策定し、業界連携を中心とした無線利活用を推進してまいります。

【ZTV 開発実証】

海運業界における喫緊の課題解決に取り組むべく、ローカル5GとAI技術を活用したダッシュボードシステムを開発しました。本ダッシュボードでは、4K高精細カメラによる港湾の様子／フライングビューカメラによる船舶の俯瞰映像／船舶の位置情報／気象情報／AI解析による船舶および港湾の異常検知／船舶の離着岸時間の計測がリアルタイムに確認できます。港湾のスマート化に対応したセキュアな無線網の構築に向けた取り組みとなります。

【となみ 開発実証】

林業における喫緊の課題解決に取り組むべく、ローカル5GとAI技術を活用した危険予知システムを開発しました。本システムでは「高精細カメラとAIを組合せた危険予知」と「作業車両の遠隔操作」の2つを可能にしました。スマート林業による生産性向上・安全性向上を通じた林業の担い手不足の改善を目的とした取り組みとなります。

【RWJ/沖縄 開発実証】

株式会社地域ワイヤレスジャパンは沖縄ケーブルネットワーク株式会社と連携し、沖縄県浦添市において、2021年12月より約3か月間、「沖縄県初ローカル5Gを活用した災害時におけるテレビ放送の応急復旧」に関する実証実験を実施しました。本件は、総務省の「令和3年度 課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」に選定されたものです。Sub6帯のローカル5Gシステムを構築し、IP映像配信、FWAサービス、及びMDU等への電波伝搬について実証を行い、成果を取り纏めました。ご興味のある方は是非お問い合わせください。

【愛媛CATV】

愛媛CATVは、令和3年6月からスマートシティの実現や地域の課題解決等にご活用いただける「ローカル5G支援サービス(サブスクリプション型)」を提供しています。専門的な知識が必要な免許取得・エリア設定、高額な費用のかかる基地局設置等の構築・運用・保守を月額負担(サブスクリプション)するだけで完全サポートします。ユーザー側設備をRUのみとするなど極小化し、他の設備を全て地域の閉域網内で共有することで高度なセキュリティを維持しつつ、オンプレミス型同等の品質・性能を確保しています。令和3年度課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証では、スマート工場でその品質・性能を実証しております。また、現在、ローカル5Gの特徴を活かせるソリューションとして、画像AIの高度で多様な分析・制御機能を活用した地域の様々な課題解決に容易に利用できる汎用性の高いソリューションのご提供に向け準備を進めております。

主催者企画ブース 概要

展示概要

③C-09,10 主催者企画ブース

(JCOM / イッツ・コミュニケーションズ / Goolight / えんがわオフィス(プラットイーズ))

● JCOM

「地域情報アプリ ど・ろーかる」

ケーブルテレビのJCOMが提供する地域情報アプリ。地域情報番組や伝統のお祭り・花火大会の生中継、河川カメラ映像や気象庁提供の防災情報など、地域の「今」の情報をいつでもどこでも見られます。

● イッツ・コミュニケーションズ

「防災スマホ」

Brand 4 1 対応機種で、BWA・SIM搭載可能。デュアルSIM (BWA&ケーブルスマホ) でIP網と電話網の冗長化。防水/防塵仕様で強い耐久性。FM無線受信機能搭載。

「可搬型Wi-Fiステーション」

同時接続30台。電波範囲は機器の半径約20m。UPS搭載で約6時間稼働。AC100V出力装備 (スマホ充電等に対応)

● Goolight

「G-SDGs達成に向けた取り組み」

「CATVの発信力で地域の魅力を全国・世界に！」

信州版坂プロモーション事業、高山村・女子美大・産学連携事業、台湾向け多角的コンテンツ発信プロジェクト、地域スポーツによる地方創生

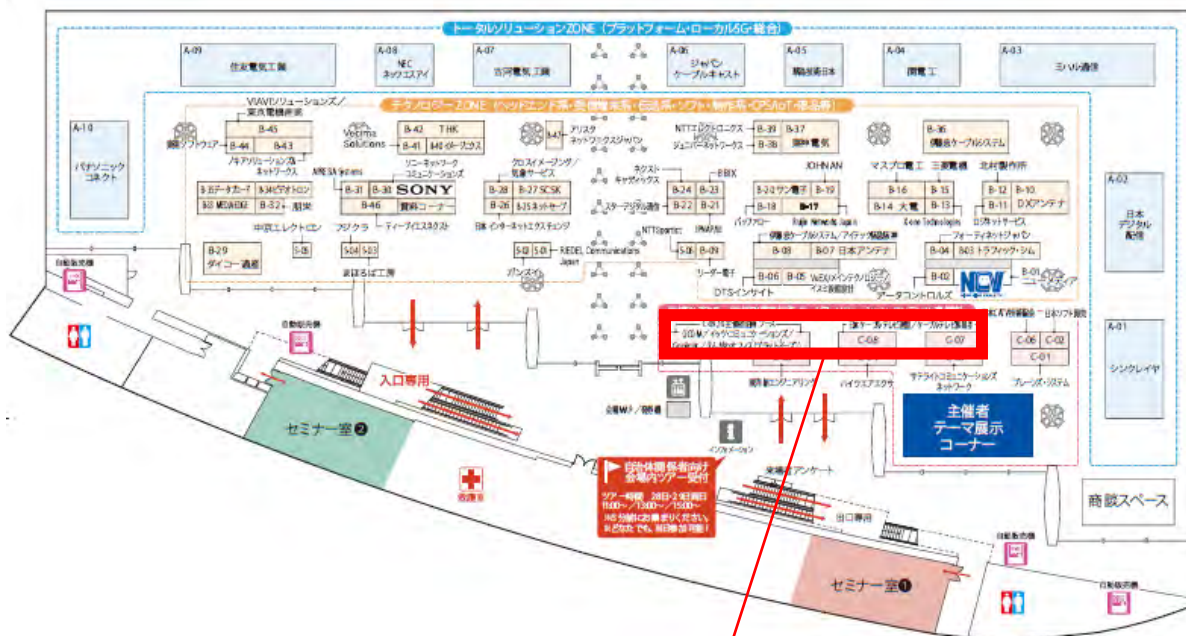
● えんがわオフィス(プラットイーズ)

「えんがわオフィス」

放送・配信・デジタルサイネージの運用業務代行

システム開発・運用保守

地域に根ざし、地域活性化と事業拡大を実現 (とくしま4K+NEXT~4K・VR徳島映画祭~)



主催者企画ブース

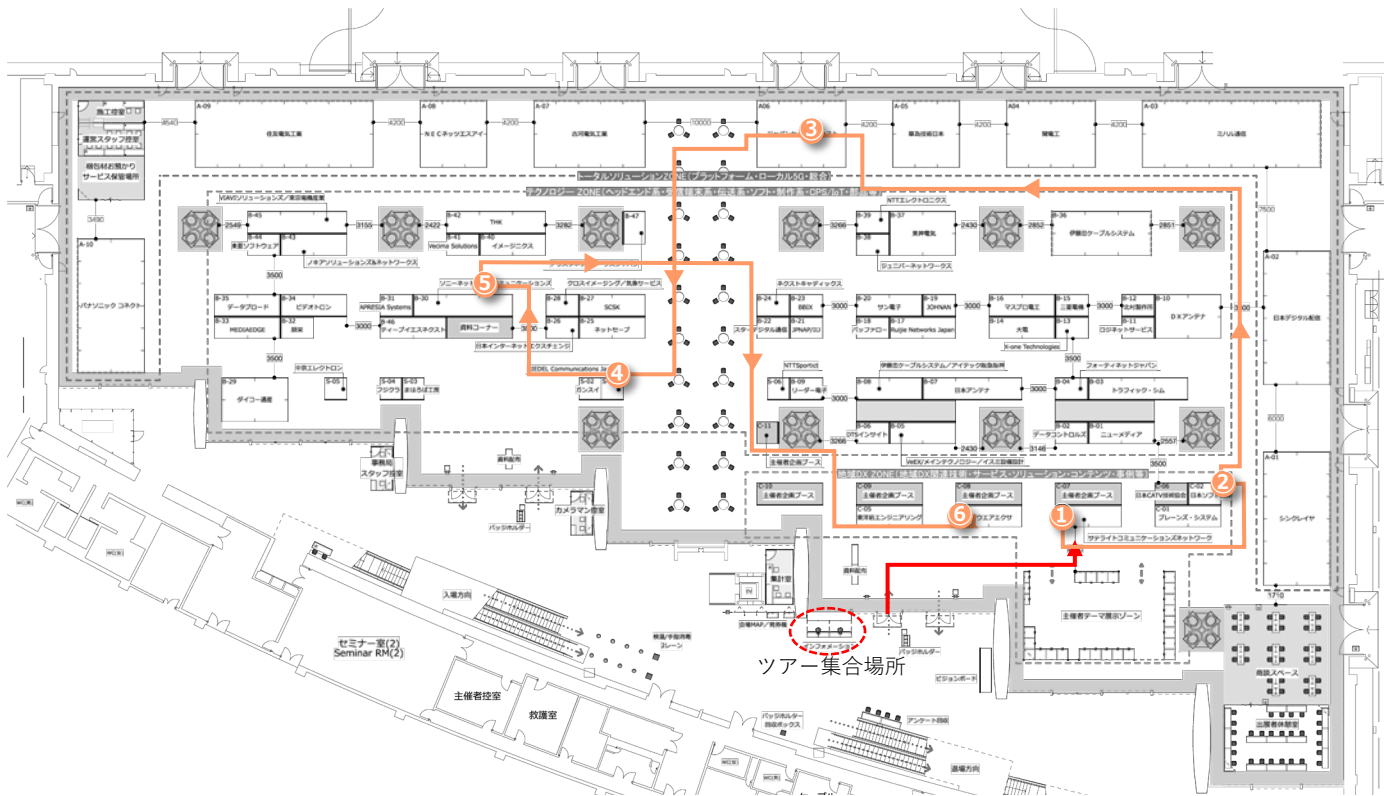
会場内ツアー 概要

自治体関係者向け会場内ツアー

「地域DX」や、「防災・減災」に関連したソリューションを展示する出展ブースを訪問する、自治体関係者向け会場内ツアーを技術展示会の会期中に実施。28日・29日の両日11時～13時～15時～で参加者を募集した。

訪問ブース

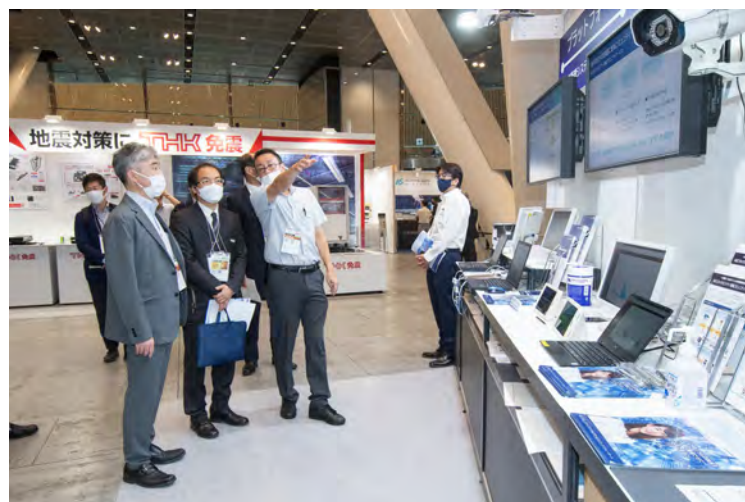
順路	訪問ブース	小間番号
①	サテライトコミュニケーションズネットワーク	C-03
②	日本ソフト開発	C-02
③	ジャパンケーブルキャスト	A-06
④	ガンスイ	S-02
⑤	ソニーネットワークコミュニケーションズ	B-30
⑥	ハイウエアエクス	C-04



参加実績

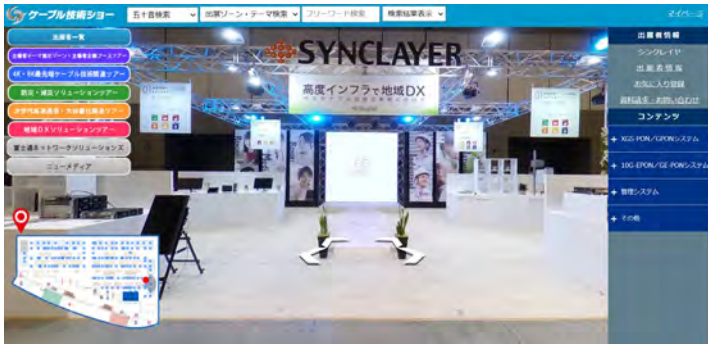
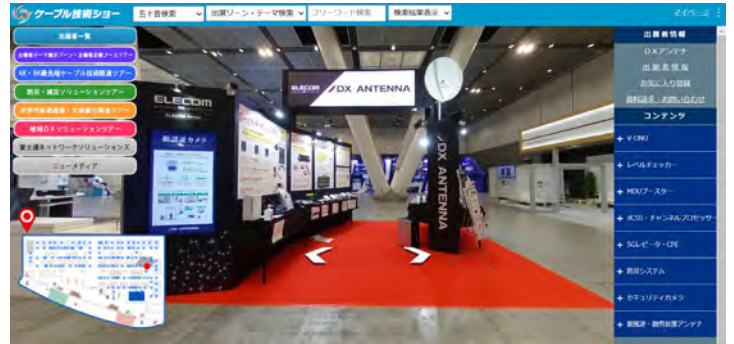
参加者：1名（両日合計）

VIPおよび自治体関係者 会場内ツアー 写真



オンライン展示会

VRブース



主催者テーマ展示



7月13日、20日と、スマートシティ官民連携プラットフォームの最新事例や、地域のケーブルテレビ局が取り組む地域を活かすDX事例など自治体関係者必見の「地域DX」最新情報をオンライン限定で配信。

7月13日（水）～公開

第一弾 | 7/13(水)

サテマガBi コラボレーション企画 「ケーブル？ テレビ？」

iU（情報経営イノベーション専門職大学）学長

中村 伊知哉 氏



▽ 講演概要

デジタルからスマートの時代を経て、メディア融合は終わり、テレビもデータ主導の時期に入った。コロナが押し進めるDXもメディア環境を一変させる。コンテンツ、コマース、コミュニケーション、3つのCをケーブルテレビ業界はどう切り拓くのか。共に考えたい。

7月20日（水）～公開

第二弾 | 7/20(水)

『月刊ニューメディア』コラボレーション企画シンポジウム 「地域DXをどうビジネスとして成り立たせるか？」

【パネリスト】

地域DX事業を始めたケーブルテレビ各社幹部

（秋田ケーブルテレビ/射水ケーブルネットワーク/愛媛CATV/ケーブルテレビ/とんみ衛星通信テレビ ※社名50音順）

【モデレーター】

『月刊ニューメディア』編集長

渡辺 元 氏

▽ 講演概要

地域DXはケーブルテレビの有望な新市場だ。地域の主要なICT企業であり、ローカル5Gという強力な技術も使えるケーブルテレビは、地域DXの中心に位置する事業者として、この新規ビジネスを展開できる。すでにローカル5Gを活用した地域DX事業に果敢に挑み、成果を出しているケーブルテレビ5社の幹部が、「地域DXをビジネスとして成功させるための戦略」を議論する。ローカル5Gや地域DXへの参入を検討しているケーブルテレビや自治体関係者必見のシンポジウム。

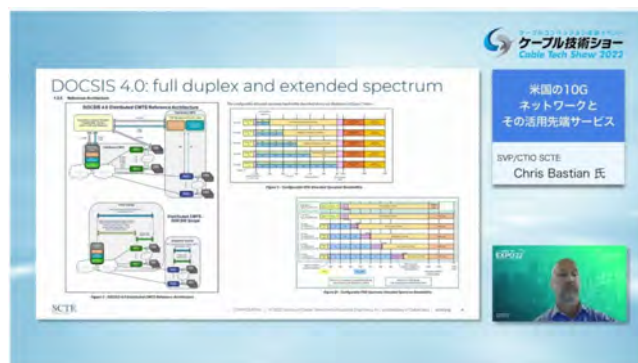
主催者セミナー

8月17日（水）～公開

米国の10Gネットワークとその活用先端サービス

SVP/CTIO SCTE Chris Bastian氏

米国SCTE SVP/CTIO クリス・バスティアン氏より2022年の米国における10Gネットワークとその利活用と題してケーブル業界における以下の6つの技術トレンドについて講演して頂きました。①DOCSIS 4.0に向けたHFCの進化とそれに必要なツール類、②固定とモバイルアクセスネットワークの融合、③ネットワークとサービスの信頼性、さらに利活用の領域として④エイジングケアから遠隔医療まで（テレヘルスのサービス領域）、⑤スマートシティ、⑥人工知能と機械学習について文字数の関係上内容についてはご説明できませんが、ご興味ある方は是非オンラインにてご覧下さい。



出展者セミナー

8月17日（水）～公開

コミチャンIP配信と新たな顧客接点の創出

ニューメディア

システム開発部 大垣 敬寛 氏

システム開発部 野呂 裕子 氏

地域コンテンツを活用してケーブルテレビのビジネスをアップデートするソリューションをご紹介します。視聴習慣の変化やOTTの台頭などにより、ケーブルテレビ事業者は新たな接点からの加入促進・顧客満足度向上による解約の防止・新たなビジネスの模索など、様々な課題を抱えています。セミナーではケーブルテレビ事業者の独自の資産である地域コンテンツを有効活用することで課題の解決と可能性を広げるために何が出来るかをお話します。弊社で開発した3つのシステムのうち、現在サービス実証を実施している「ロコテレ動画」についても詳しく紹介します。

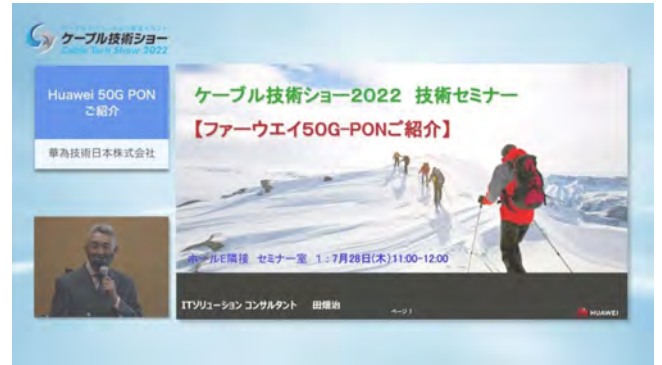


オンラインテックセミナー

Huawei 50G PONご紹介

華為技術日本株式会社
ITソリューションコンサルタント 田畑 治氏

昨今のアクセス網市場では、仮想化を主眼とするアプリケーションの加入者による利用拡大に伴い、キャリアからは超広帯域化、低遅延化が求められており、今後の50G-PONシステムの導入機運が高まっております。このような背景から、ITU-Tでは上記市場要求に対応できる50G-PON国際標準仕様の開発がかねてより進められてきました。50G-PON製品開発においては、バースト特性を有する超広帯域光伝送、データバースト転送の低遅延化の技術開発がポイントとなります。Huaweiは、今後ITU-Tの50G-PON国際標準仕様を満足する商用50G-PON製品の開発を行ってまいります。本セミナーでは、①PON技術に関する市場・キャリア動向、②ITU-Tにおける50G-PON標準化動向、③50G-PON製品開発のポイント、④Huaweiでの50G-PON製品開発、についてご紹介させていただきます。



FTTH化における低コストのODNアーキテクチャーと製品

華為技術日本株式会社
法人ビジネス事業本部 光ネットワークソリューションセールス部
プロダクトマネージャー 許 晗氏

日本国内のODN構成を調査、分析。現状のCATV FTTHの配線を紹介。CO局舎からOLTを置いて先ず1:8の光分岐することは多数のキャリアさんを現在使用されている。ODNの設計、投資の割合は非常に高い認識です。多数のキャリアはFTTHのサービスを提供する時、幹線ファイバーは特殊な1000芯及び600芯のものを使用している。大芯数のファイバーは料金高い、融着回数多い、融着機器の消耗品代も高く、融着に関しまして工事の時間工事費もコストの一部になる。低コストのODNアーキテクチャーは局舎デバイスを室外に設置し、小芯数のファイバーの使用を推奨する。コネクタ接続のコロージャと非均等スプリッターを紹介。



オンラインテックセミナー

XGS-PONの最新動向の紹介と今後起こる社会変容

伊藤忠ケーブルシステム

ノキアソリューションズ&ネットワークス合同会社

ネットワーク・インフラストラクチャー事業部 固定アクセスネットワーク事業部

ソリューションマネージャー 原孝成氏

医療、教育、介護の現場に至るまで、ネットを介在したサービスが広がり、今や通信インフラは社会全体を根底から支える重要な存在となり、言わば「社会の神経」として発展を遂げました。こうした中で、扱うデータの肥大化、巨大化、また秘匿性なども、以前より比べ、日増しに大きくなっているのが現実です。XGS-PON (10G) は、ストレスなく、情報のやり取りをするツールとして、社会インフラの一部となり、今後益々存在価値を高めていくこととなります。セミナーでは、XGS-PON (10G) を起点にして、一層進行する社会のIoT化に、どのようなソリューションが必要なのかを御参加者の皆様にご提案したいと考えています。

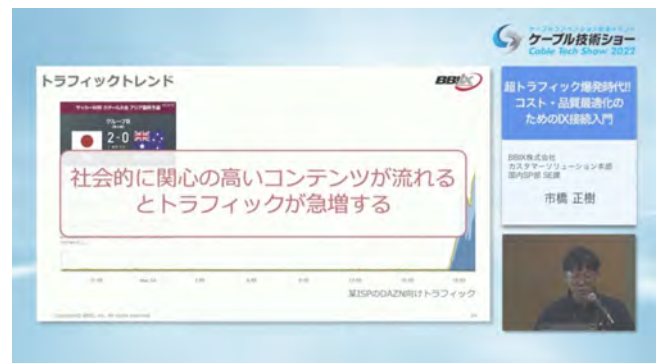


超トラフィック爆発時代!! コスト・品質最適化のためのIX接続入門

BBIX

カスタマーソリューション本部 国内SP部 SE課 市橋 正樹氏

COVID-19やFTTH化の影響で増え続けるインターネットトラフィック。IX接続の導入で上位回線のコスト最適化と品質向上を実現しませんか？ 元ケーブルオペレーターが、地域ISPの目指すべきかたちを最新のトラフィックトレンドを紐解きながらご紹介いたします。



APRESIA Systems Virtual 10G-PONご紹介

APRESIA Systems Virtual 10G-PONプロジェクト マネージャ 深谷 武史 氏

従来型のシャーシ型10G-PONと比較して、設置スペースを約1/3、消費電力を1/2に削減しお客様の運用コストを大幅に削減可能な、APRESIA Systems Virtual 10G-PONソリューションを、製品特徴、ユースケース、今年度から販売開始を行う新製品、新機能を交えてご紹介致します。



次世代CATVシステム開発の取り組み

古河電気工業 ブロードバンドソリューション事業部門ブロードバンドシステム部 システム開発課課長 松本 卓三 氏

古河電気工業は、「技術革新により真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献」という基本理念のもと、革新技術で社会のさまざまな課題を解決するソリューションを提供してきました。今回の講演では、古河電気工業が考えるCATVインフラに価値を付加する研究開発の活動について紹介を行います。アクセスネットワークの高信頼化・オールIPシステムへの取り組み、5Gを含む光・無線融合システムの開発、仮想化技術の開発やモビリティと融合した統合情報インフラの構想についての取り組みについて紹介を行います。この講演を通して少しでもお客様に古河電気工業の革新的取り組みを感じてもらえたらと思います。



オンラインテックセミナー

地域DXを活用したまちづくりへの取り組み

NECネットエスアイ

ビジネスプロセスイノベーション推進本部 久保 未結 氏

デジタルで「人と人」・「人とモノ」・「モノとモノ」がつながる社会の実現に向け、「Digital×Town」を弊社のまちづくり事業のブランド名として取り組みを開始しました。地域課題解決プロデューサーという立ち位置で自治体様が目指すまちづくりを、地元企業様との連携で実現しまちのトータルコーディネートを進めています。弊社のまちづくりへの取り組み、まちづくりに参画している事例などをご紹介します。

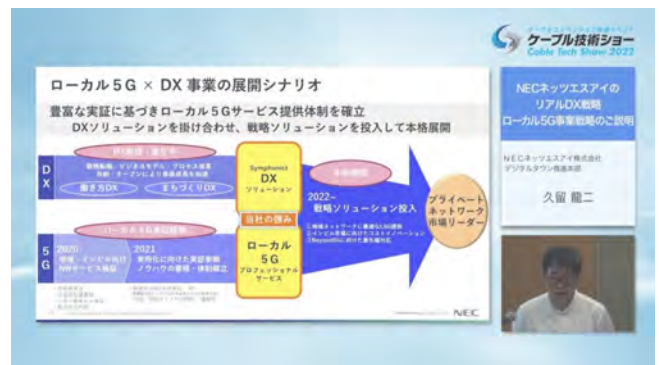


NECネットエスアイのリアルDX戦略 ローカル5G事業戦略のご説明

NECネットエスアイ

デジタルタウン推進本部 久留 龍二 氏

コロナ禍で社会環境が急激に変化している昨今、お客様のニーズはデジタルシフトで柔軟に、素早く変化に対応すること。お客さまのDXを共創で実現します。ローカル5G事業戦略、企業の経営課題や地域が抱える様々な社会課題を解決するローカル5G×DX、豊富なローカル5G実証事例をご紹介します。キャリア、企業系ネットワークインテグレーション事業で培った技術・ノウハウを活かし、サービス・経験でお客様のローカル5G活用をフルサポート致します。ぜひセミナーをご聴講下さい。



全ての人が情報とつながる安心・安全なまちづくり

NECネットエスアイ

ビジネスプロセスイノベーション推進本部 奥山 隆 氏

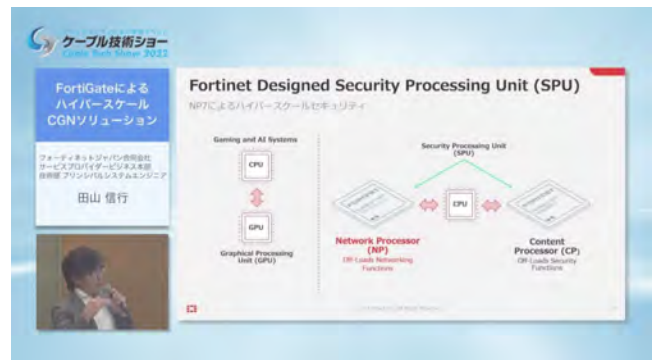
ここ10年で、通信環境を中心とした社会状況は変化してきております。高速通信網・FTTHの普及、スマホの普及率は高齢者から子供まで増加しています。しかし普及＝すべての人が情報収集できる、というわけではなく、特に高齢者はスマホを持っていても電話やメールがメインの方が多くようです。そうした中、情報提供の手段をスマホだけにしていよいか。社会環境の変化を取り入れつつ、地域の情報伝達、災害時の情報提供、平常時のお知らせ、域内無料電話など、地域全体で利用できる 優しいまちづくりを提案致します。



FortiGateによるハイパースケールCGNソリューション

フォーティネットジャパン
サービスプロバイダービジネス本部 技術部
プリンシパルシステムエンジニア 田山 信行 氏

サービスプロバイダはIoT機器の急増や5Gへの移行と相まってIPv4とIPv6のインフラを今後数年間共存させる必要があります。今までの市場では高コストなFPGAを使用したNAT専用機が主流でしたが、フォーティネットのCGNソリューションは、自社開発のASIC「NP7」を搭載したNGFWであるFortiGateで高性能なCGN処理を実現し、同時にセキュリティ対策も可能にします。NP7はログ生成・送信を含めたCGNに必要な処理全てをハードウェアで行い、100G/400Gへの対応も可能な複数のアプリケーションを提供出来ます。本講演ではこれらの詳細をご紹介します。



フェージング対策に最適な選択ダイバーシティ地デジSP&最新ソリューション

ミハル通信
システムソリューション部 部長 永田 昌浩 氏
研究部 主査 三輪 昌寛 氏

当社はフェージングに対応した「選択ダイバーシティ地デジSP」を開発、製品化しており、導入される事業者様が増えてきております。この製品の開発された背景、またフェージングとは何かなどについて、開発責任者自らが解説いたします。セミナー後半では、当社の最新ソリューションについてもご紹介いたします。セミナー動画視聴ご希望の方は、当社ホームページ内の下記特設サイトよりお申込みください。

<https://www.miharu.co.jp/exhibition/catv-f-2022.html>



新コールセンター「i-TEC Prime Center Osaka」始動！

伊藤忠ケーブルシステム株式会社／アイテック阪急阪神
アイテック阪急阪神株式会社
iPCOセンター長 山根 愛 氏

2022年5月より、新コールセンター「i-TEC Prime Center Osaka」を開設いたしました。新センター開設の狙いや今後の展望及び、コールセンターでの新しい取り組みについてご紹介させていただきます。自動音声受付/TechSee/コロナ対策/BCP対策/リモートワーク 研修制度の充実/ES（従業員満足度）向上施策 などなど



地域BWAやローカル5Gの運用保守に不可欠な監視と測定について

VIAVIソリューションズ
アプリケーションエンジニア 酒井 顕 氏



テーマ別動画ツアー

4K・8K ケーブル技術関連ツアー

ミハル通信
 古河電気工業



防災・減災ソリューションツアー

サテライトコミュニケーションズネットワーク
 データブロード
 シンクレイヤ
 ソニーネットワークコミュニケーションズ



次世代高速通信・大容量化関連ツアー

シンクレイヤ
 古河電気工業



地域DXソリューションツアー

サテライトコミュニケーションズネットワーク
 日本アンテナ
 DXアンテナ
 ハイウエアエクサ
 ガンスイ / Riedel Communications Japan
 ソニーネットワークコミュニケーションズ



主催者テーマ展示ゾーン・主催者企画ブースツアー

PTVフォーラム
 NHK放送技術研究所
 日本ケーブルテレビ連盟/ケーブルテレビ事業者 (IoT)
 日本ケーブルテレビ連盟/ケーブルテレビ事業者 (5G)
 日本ケーブルテレビ連盟/日本CATV技術協会
 日本ケーブルラボ
 放送サービス高度化推進協会 (A-PAB)
 / 日本CATV技術協会





ケーブルコンベンション関連イベント
ケーブル技術ショー
Cable Tech Show 2022

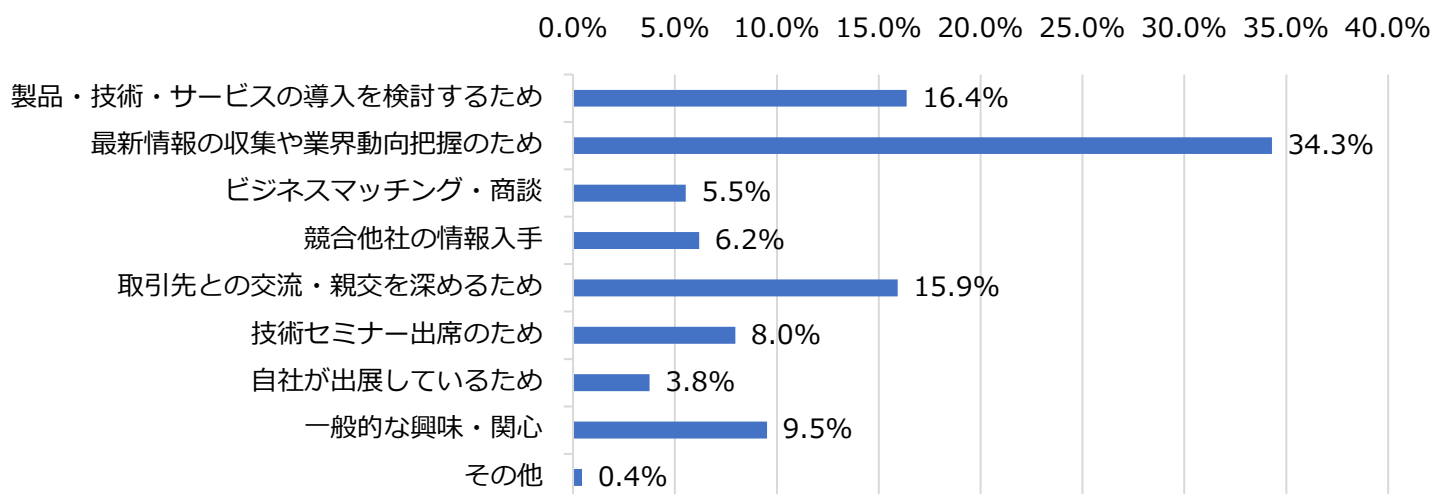
来場者アンケート集計結果

10th Anniversary

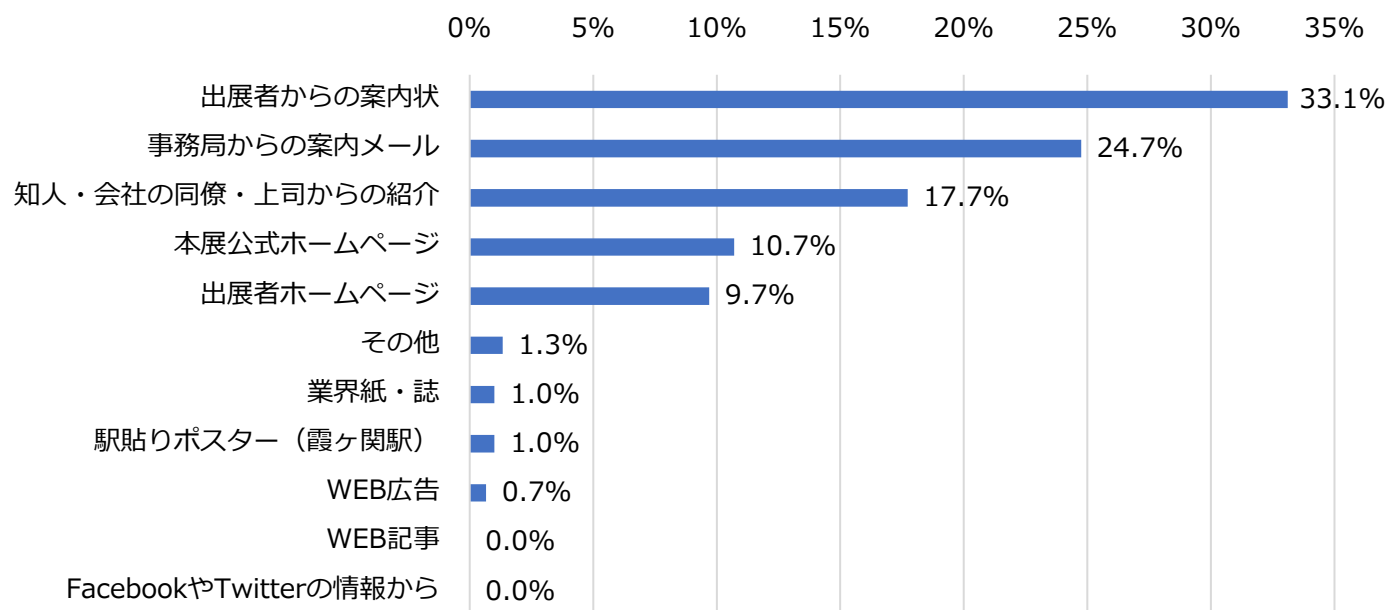
The future starts today!
地域を活かす、未来をつくる、ケーブル原動力
Making the most of the community and creating the future by Cable Dynamics

来場者アンケート集計結果 (232名)

Q1. 本展の来場目的は何ですか。(複数回答可)

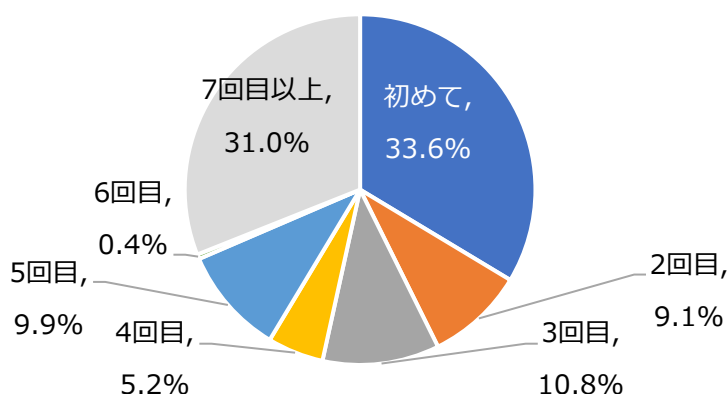


Q2. 本展を何でお知りになりましたか。(複数回答可)



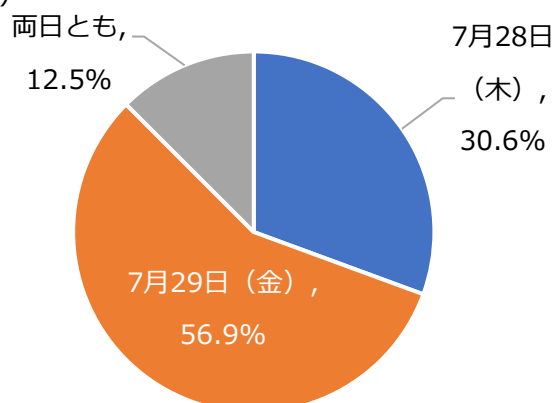
Q3. 過去を含めて本展への来場頻度をお聞かせください。

(n=232)



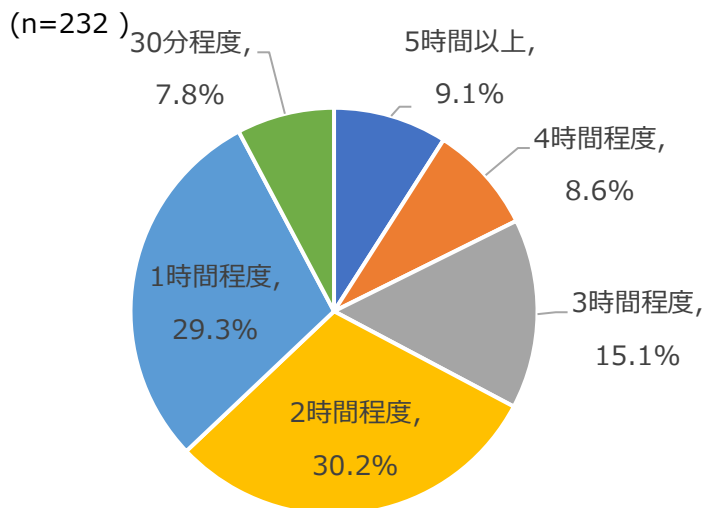
Q4. 開催期間中の本展への来場頻度をお聞かせください。

(n=232)



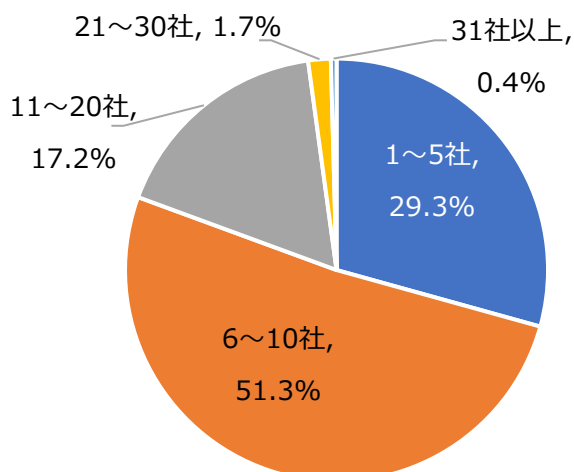
来場者アンケート集計結果 (232名)

Q5. 1回の来場につき本展をどのくらいの時間ご覧になりましたか。



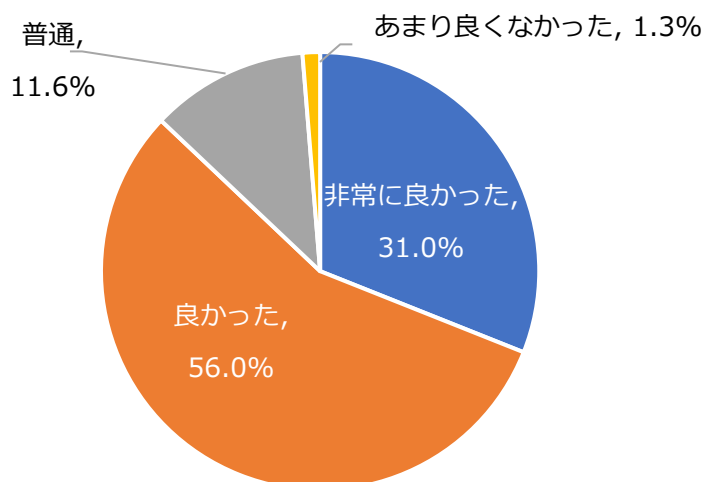
Q6. 開催期間中に何社訪問されましたか。

(n=232)



Q7. 本展をご覧になった印象をお聞かせください。

(n=232)



● 普通、あまり良くなかったと回答をした理由

- ・システムと資材関連がもう少し見たかった
- ・制作スタッフなのですが制作系の機材の展示が以前より少なくなったと思います
- ・意図したものと違っていた
- ・目新しい展示が少ない
- ・昔より規模が小さくなったので
- ・目的物の出展が少ない
- ・年々、内容が乏しくなっている

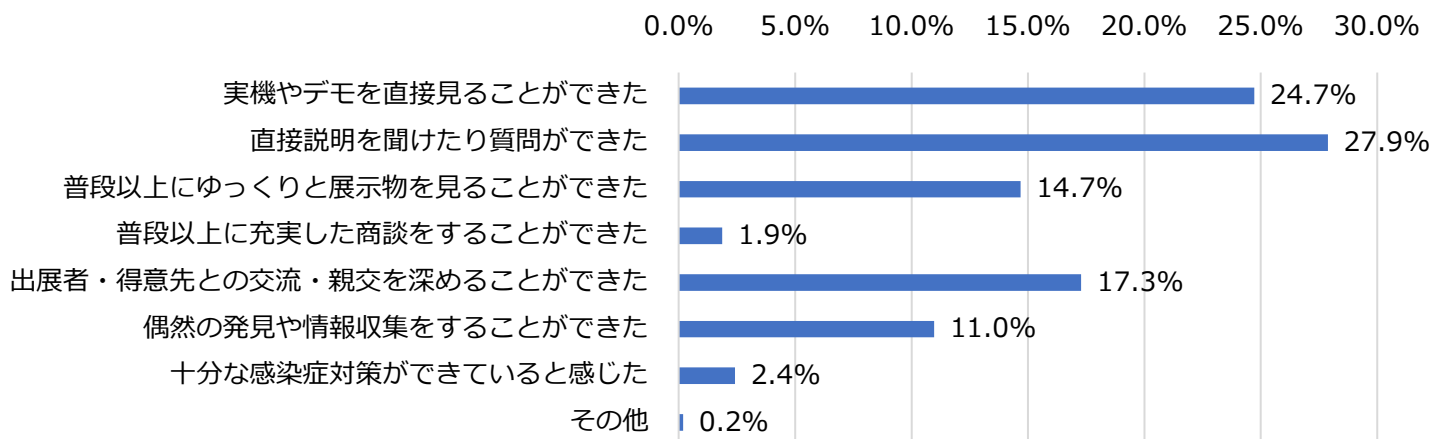
来場者アンケート集計結果 (232名)

●非常に良かった、良かったと回答をした理由

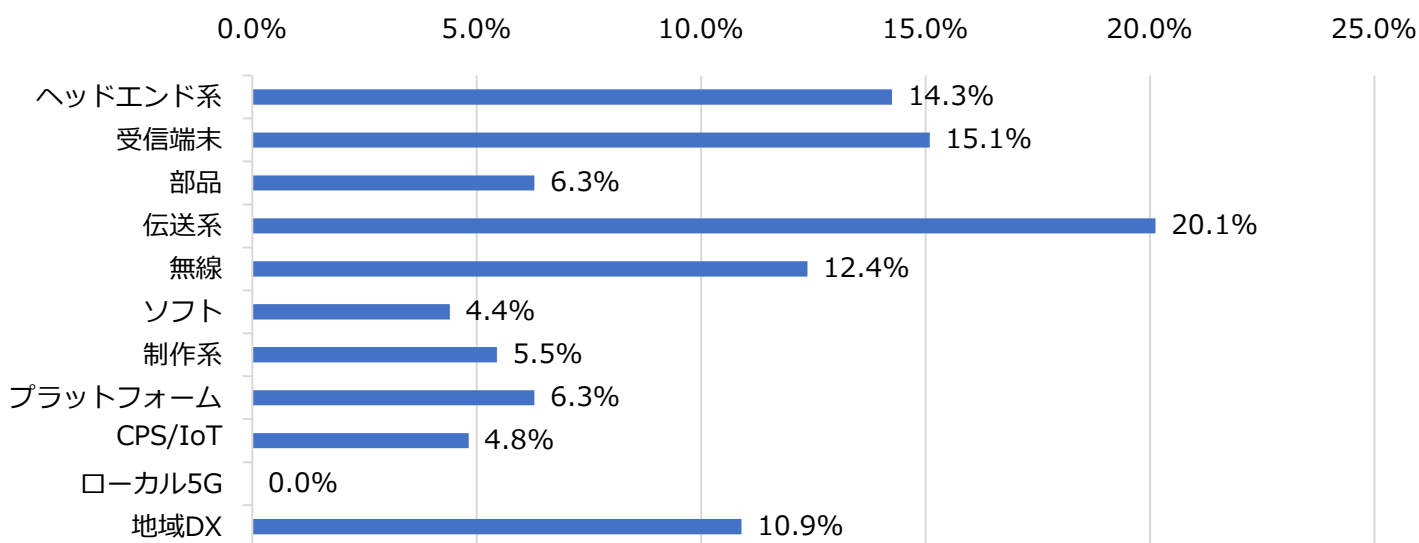
- ・製品の最新の情報を知ることができ、良かったと思う
- ・最近のケーブルテレビの動向がわかった
- ・自社で導入している技術に加えて、最新の技術動向を知る良い機会になりました
- ・情報収集出来た
- ・去年より活気が出てきたから
- ・コロナ禍で久しぶりの来場で業界の情報が分かった
- ・しばらくケーブルテレビ機器と無縁な部署にいたため、目新しい製品がたくさんあった
- ・知らなかった技術、サービスを得た事。最新のデバイス情報を得られた事
- ・具体的な打ち合わせができた
- ・例年よりも比較的空いていてまわりやすかった
- ・久しぶり活気あるショーになりました
- ・オンライン開催より良かった
- ・研修で学んだ内容が、製品とどう繋がりがいいのか理解できたため
- ・これからの動向を知れたので
- ・対面でお話が出来て、とても良かったです。信頼が深まりました
- ・スムーズにまわられた
- ・色々と設備について説明していただけた
- ・分かり易い展示
- ・色々な会社を見れたため
- ・生の情報が得られる
- ・セミナーがよかった
- ・セミナーを増やしていただきたい
- ・会場が広く移動し易い
- ・コンパクトに凝縮され、最新動向が分かりやすかった
- ・各社の展示が大変興味深かった
- ・色々な会社の担当者との繋がりが出来た
- ・直に製品を見ることができた
- ・開発中の製品、技術を見られた
- ・ネットワークへの注力など、各社の動向が分かった
- ・内容案内がわかりやすかった
- ・色々な取り組みがあることが分かったから
- ・困っていた問題が解決できそうなほど進展した
- ・的が絞られていて探し易く見やすい
- ・コロナ禍で不安であったが会場で現物をみることでできたため
- ・自社で取り入れていない製品や技術を知ることができたから
- ・取引先の知人と面会でき、新しい提案を受けることができた
- ・ケーブル技術はどの様になるかの方向性を見ることができた
- ・技術的な知識が得られたため
- ・数年ぶりだったので新しいソリューションの動向がわかった
- ・もう少し出展数が多いと良かった
- ・ケーブルテレビにとらわれない出展
- ・知らないことがあり参考になつた
- ・協力ベンダー様へご挨拶
- ・業界の最新動向を短時間で効率的に把握することができる
- ・弊社の事業に直結した展示が多く見られたから

来場者アンケート集計結果 (232名)

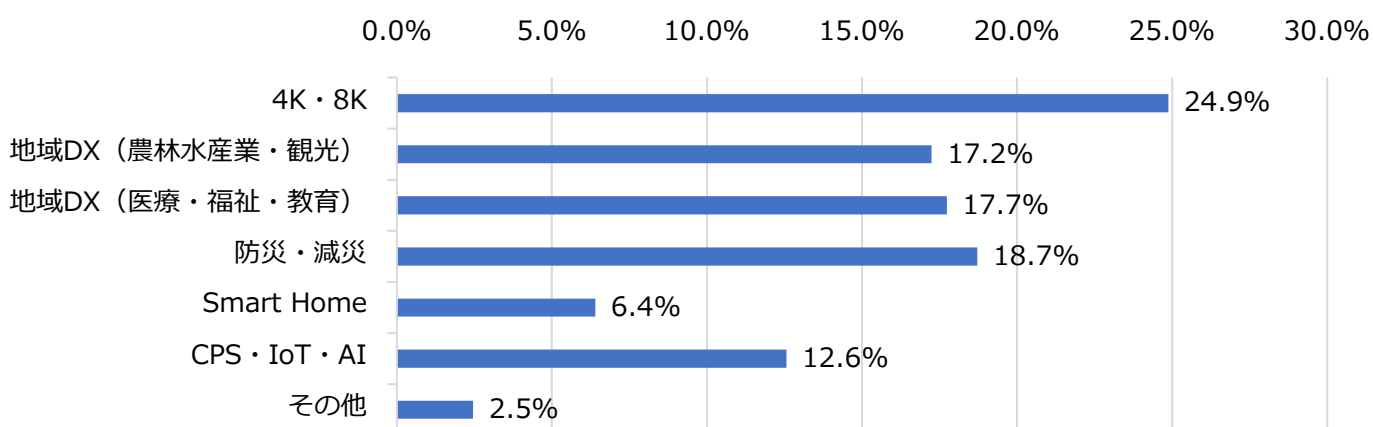
Q8. 本展をご覧になって良かったところをお聞かせください。
(複数回答可)



Q9. 興味を持った出展内容・分野は何ですか。(複数回答可)



Q10. 興味を持ったトピックスは何ですか。(複数回答可)



来場者アンケート集計結果 (232名)

Q11. 印象に残った出展ブースとその理由をお聞かせください。
(複数ある場合はそれぞれお書きください)

※下記、回答件数の多かった上位5ブースを掲載。

●住友電気工業

- ・ IP放送の動向が得られた
- ・ 先端技術への取り組みが積極的
- ・ 毎回必ず立ち寄るようにしている

●関電工

- ・ ローカル5G
- ・ 毎回必ず立ち寄るようにしている

●パナソニック コネクト

- ・ パナソニックのスイッチャー サブの更新が控えているため

●マスプロ電気

- ・ V-ONU の監視装置が、かぶっているけど、目新しい。

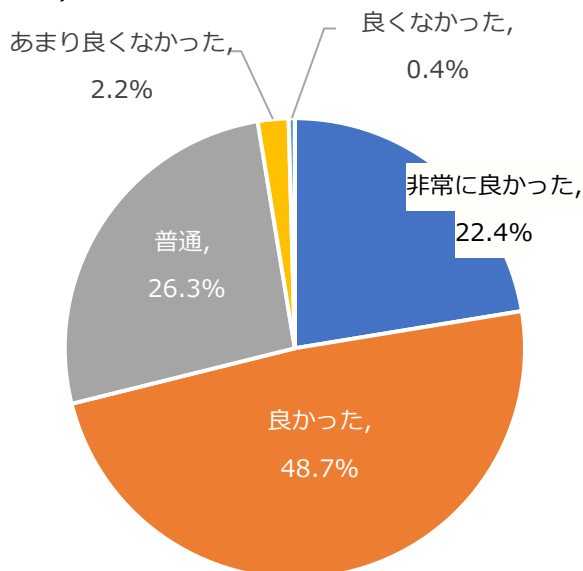
●古河電気工業

- ・ 古河電気工業のルーター付きONU

来場者アンケート集計結果 (232名)

Q12. 主催者テーマ展示コーナー ・ 主催者企画ブースをご覧になった印象をお聞かせください。

(n=232)



●非常に良かった、良かったと回答した理由

- ・ 今目指している方向がわかる
- ・ 細かく説明をしてもらえて良かった
- ・ 一同に確認できた
- ・ 無電柱化関連と4k・8k関連
- ・ ローカル5Gの活用状況の話をお聞きできた
- ・ SGDの達成に向けた取り組みを知ることができたから
- ・ 取引先でもあり、情報交換が出来た
- ・ 広さ、規模が丁度良く見やすかった
- ・ 無電柱化コーナーのGISは使いやすい
- ・ セミナーで説明していたものがあったため
- ・ 各社の取り組みを確認できたため
- ・ 説明が丁寧でした
- ・ 実機が見られた
- ・ わかりやすい展示であった
- ・ 知識
- ・ 最近のトレンドに触れることができた
- ・ 説明、パネルがわかりやすい
- ・ J Labsがニーズを捉えられていると感じた
- ・ 新しい取り組みを聞いた

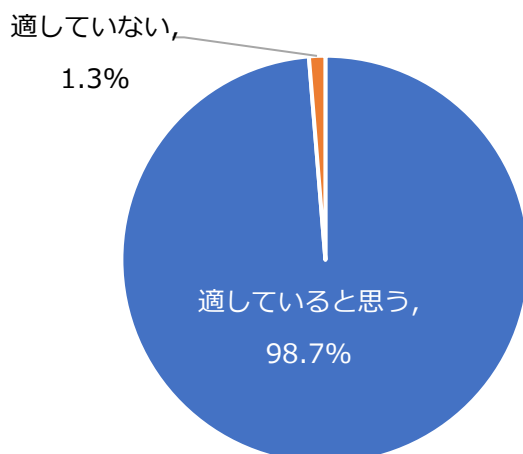
●普通、あまり良くなかったと回答した理由

- ・ 新しい内容がなかった
- ・ ボード展示のみで、寂しい
- ・ 実証結果等の成果をもう少し詳しく展示してほしい

Q13. 開催会場についてお伺いします。

東京国際フォーラムでの継続開催は適していると思いますか。

(n=232)



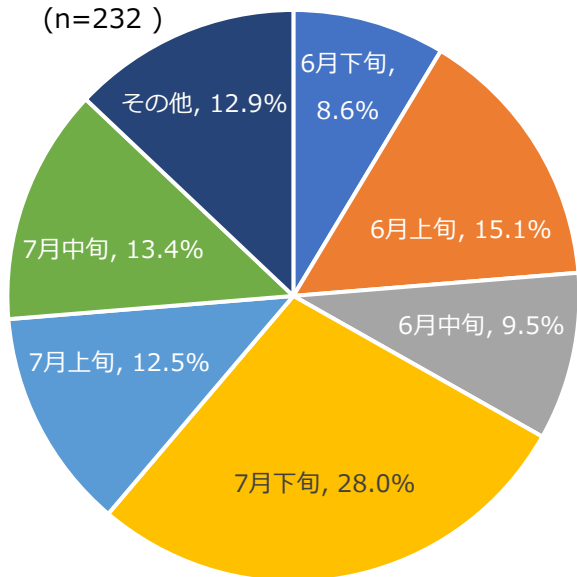
●「適していない」と回答された方にお伺いします。 その理由をお聞かせください。(複数)

- ・ 狭い・遠い

来場者アンケート集計結果 (232名)

Q14. 開催時期についてお伺いします。

(n=232)



● その他の開催時期をお聞かせください。

- ・秋
- ・9月
- ・10月
- ・11月
- ・12月

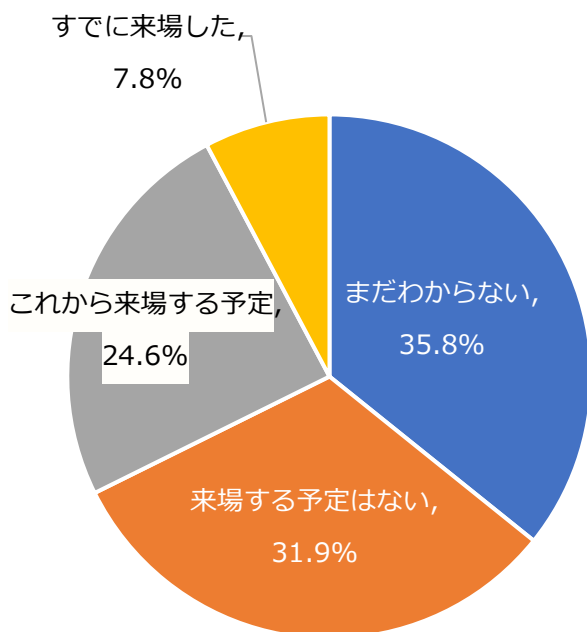
● 開催時期の理由をお聞かせください。

- ・暑過ぎない時期
- ・月末は調整しにくい
- ・繁忙期でない時に開催してほしい
- ・暑くなく、寒くない時期
- ・株主総会後が良い

Q15. 7月13日（水）よりオンライン展示会を開催しています。

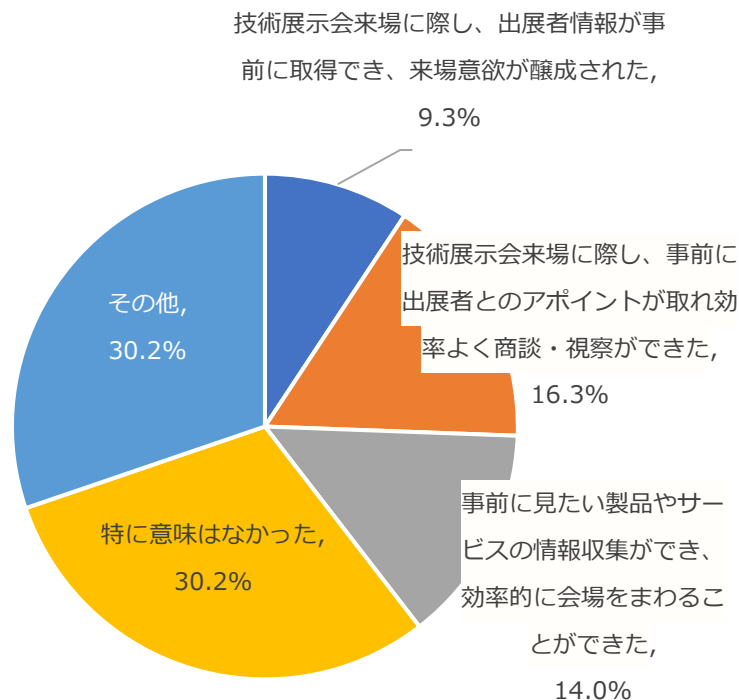
オンライン展示会にも来場しましたか、または来場を予定していますか。

(n=232)



Q15-2. すでにオンライン展示会に来場した方にお伺いします。オンライン展示会に来場してからの技術展示会来場はいかがでしたか。

(n=43)

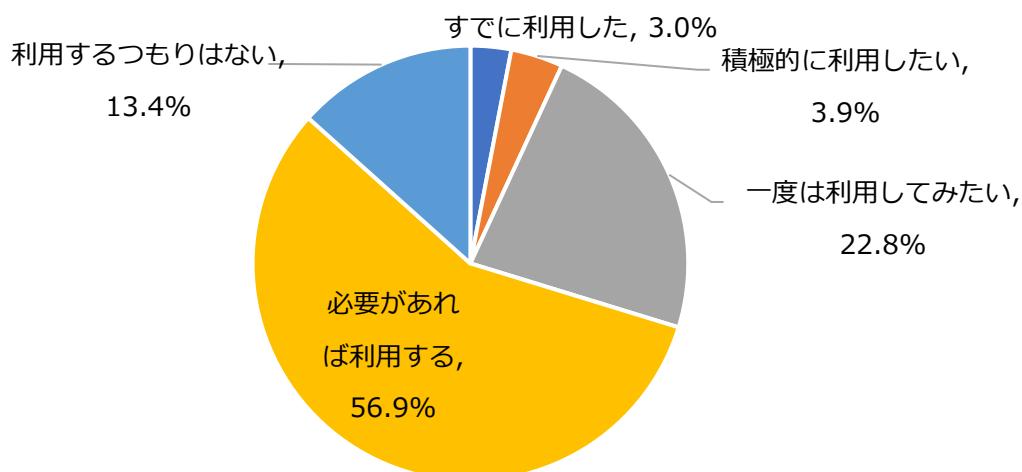


来場者アンケート集計結果 (232名)

Q16. オンライン展示会では名刺交換機能、テキストチャットやビデオチャットなど出展者に直接質問・問い合わせができるコミュニケーション機能が備わっています。

コミュニケーション機能を利用しますか。

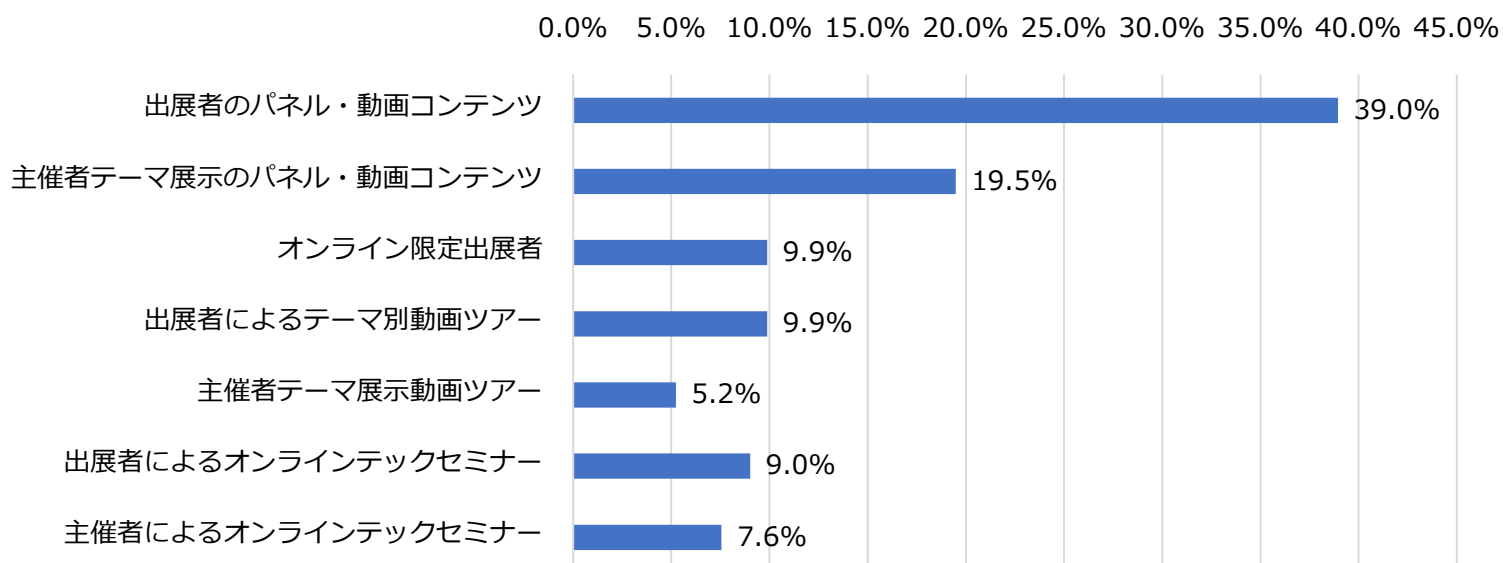
(n=232)



「利用するつもりはない」と回答された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。

- ・コミュニケーションは直接が良い
- ・オンラインでの参加はしないので
- ・面倒である

Q17. オンライン展示会で興味関心があるものをお聞かせください。
(複数回答可)



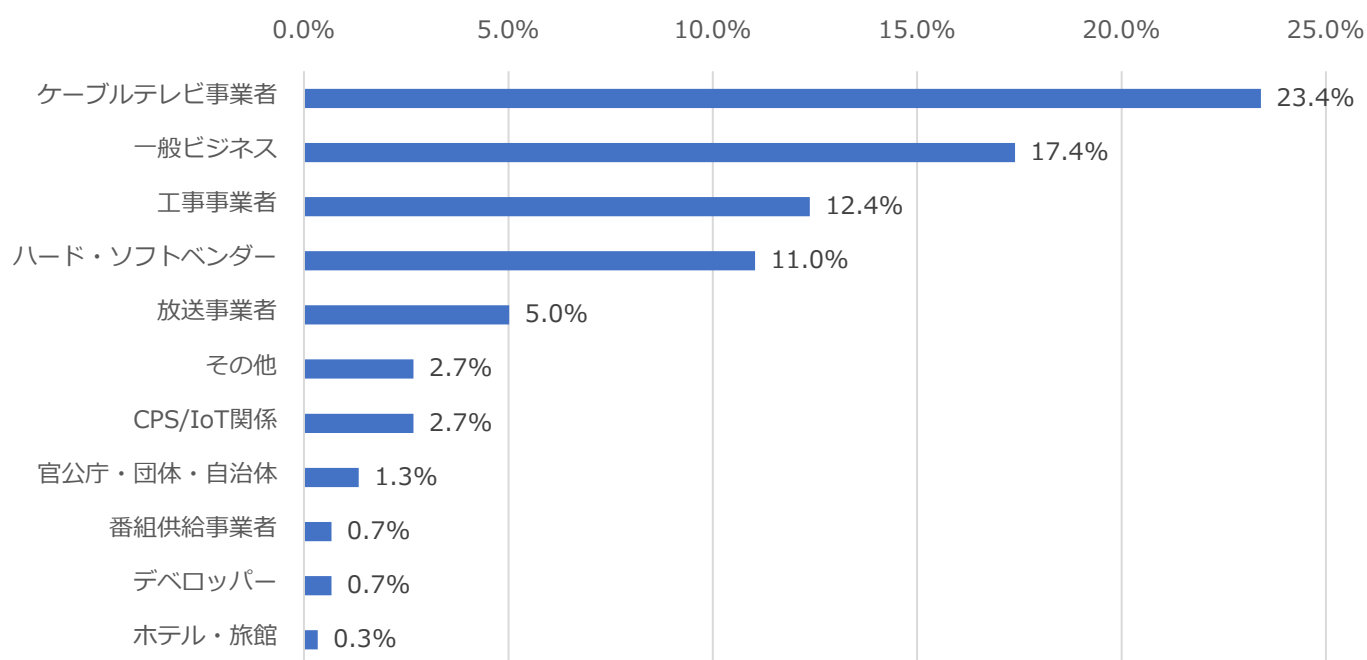
来場者アンケート集計結果 (232名)

Q18. 今後のケーブル技術ショーに期待するものがあればお聞かせください。

- ・勉強になりました
- ・長距離のケーブル伝送が得意な企業の出展を心待ちしています
- ・製造業とのシナジー
- ・業界の情報が知ることができるので、このままで良い
- ・休憩所スペースがもっと広ければ良い
- ・一般向けでも楽しめるブースをもっと増やしてほしい
- ・リアルとオンラインの併用をこれからもお願いします
- ・継続して開催して下さい
- ・ブースを広くして欲しい
- ・コンテンツ部門を復活してほしい
- ・コロナ禍等の問題をクリアして、来年も継続して実施してほしい
- ・エンタテインメント性

F1. 勤務先の業種をお聞きします。

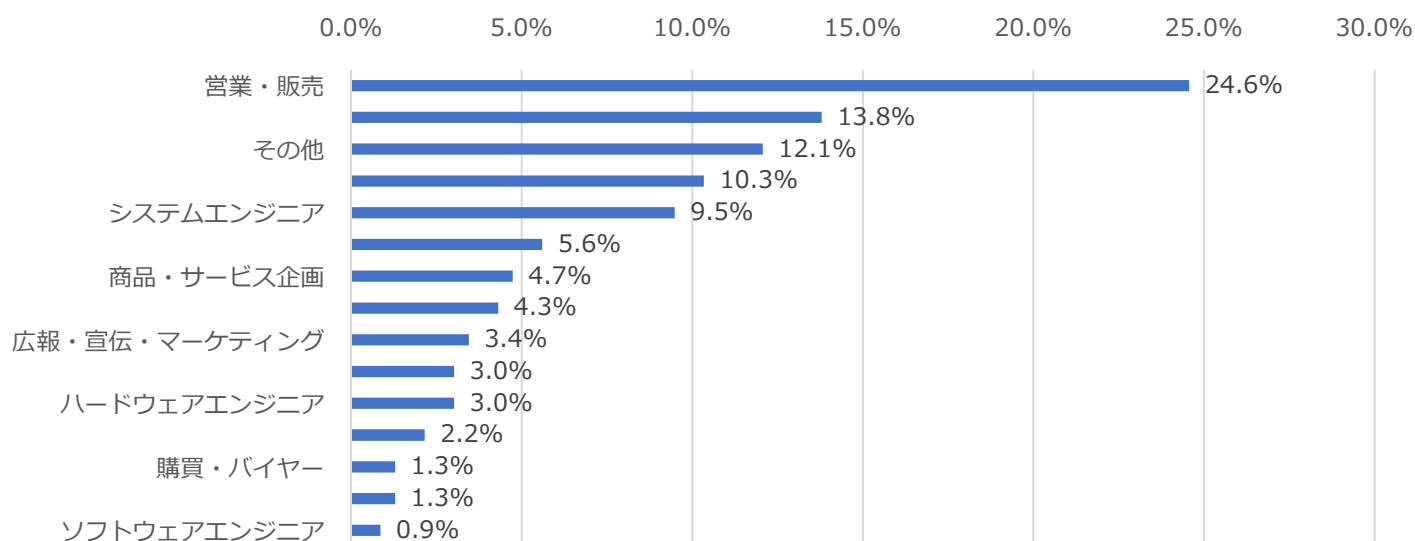
(n=232)



来場者アンケート集計結果 (232名)

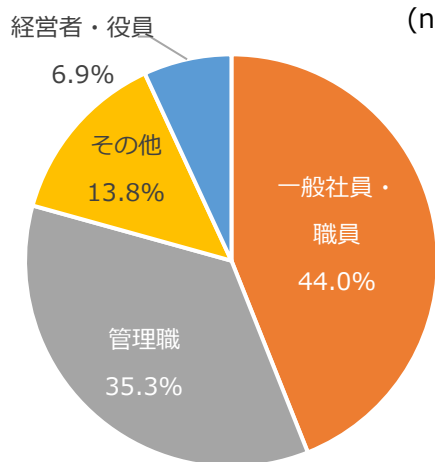
F2. 勤務先での職種をお聞きします。

(n=232)



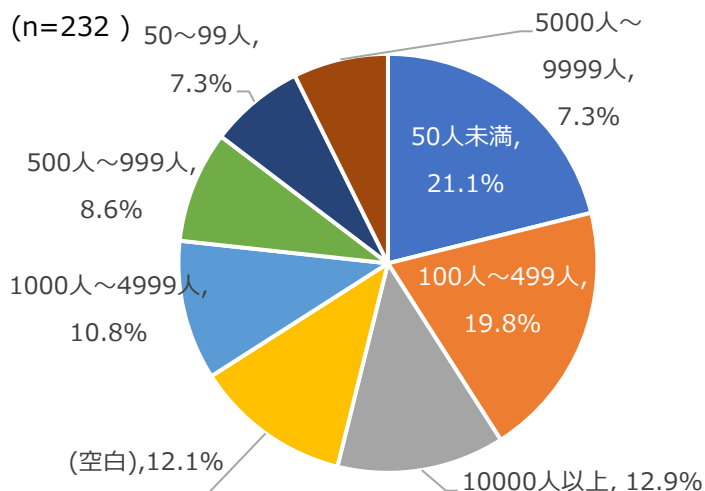
F3. 職務レベルをお聞きします。

(n=232)



F4. 従業員数は。

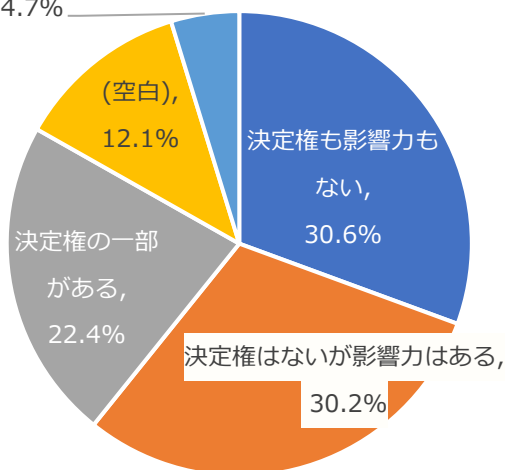
(n=232)



F5. あなたは製品・技術・サービスの購入・導入について決定権や影響力をお持ちですか。

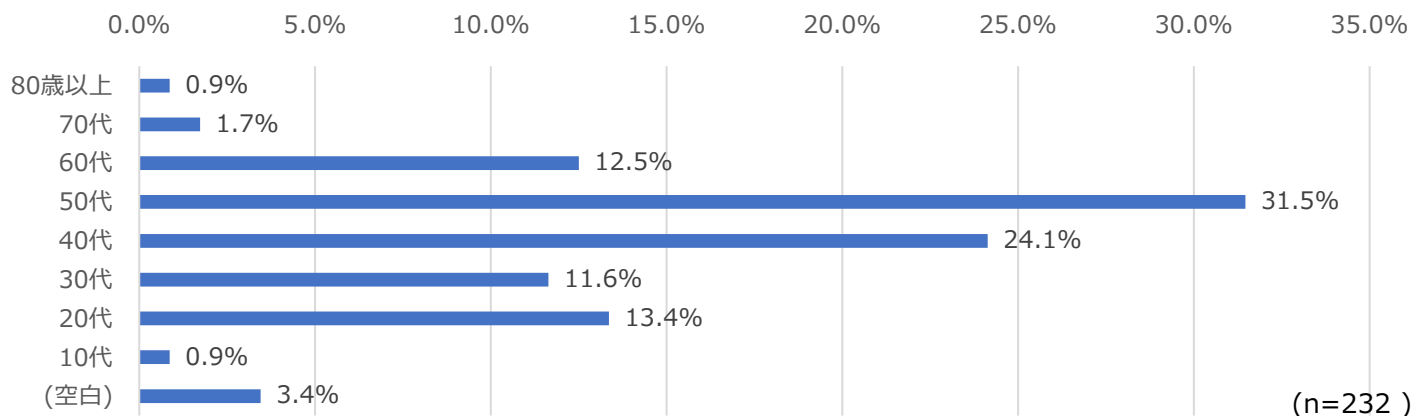
絶対的な決定権がある, 4.7%

(n=232)

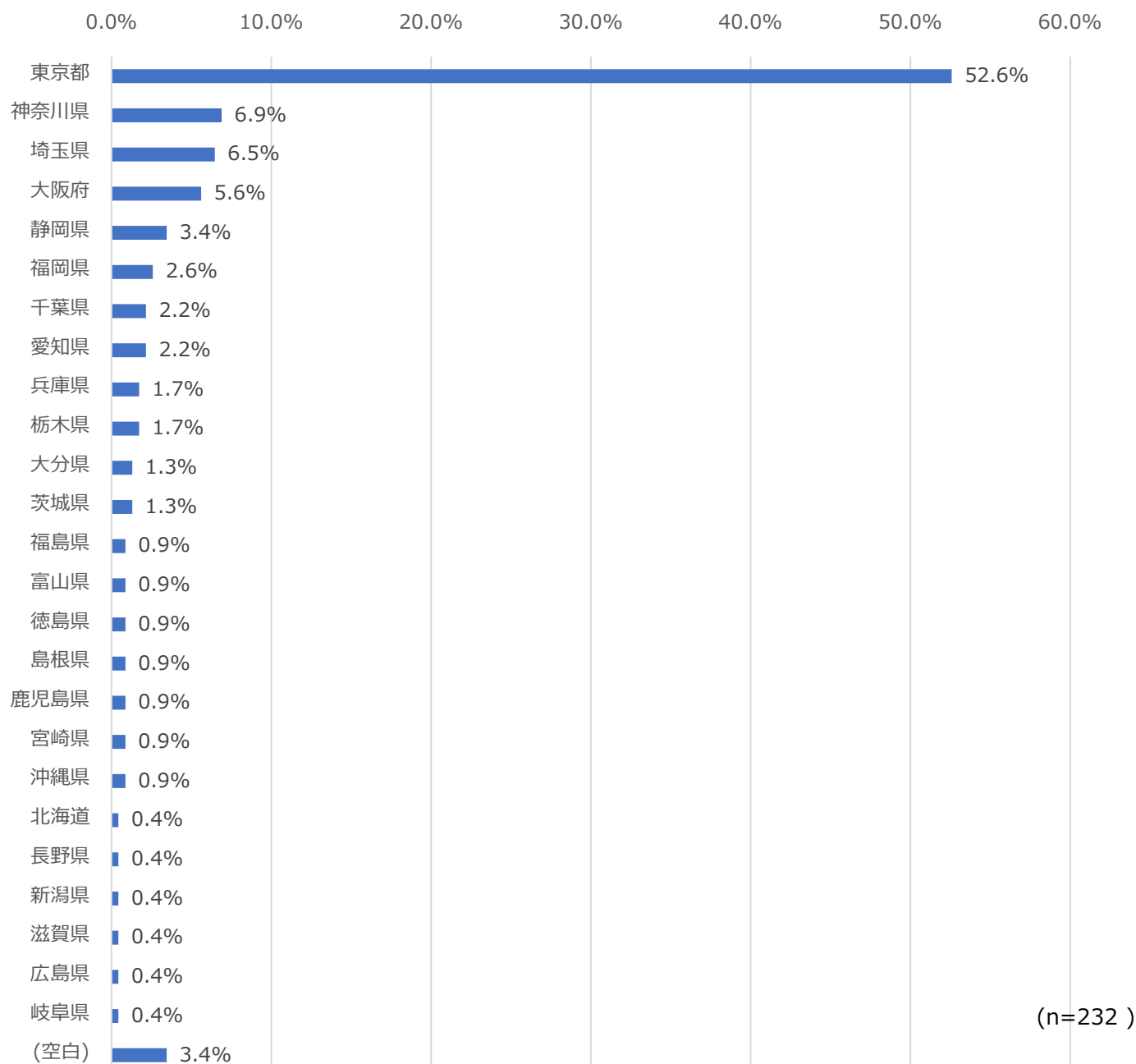


来場者アンケート集計結果 (232名)

F6. あなたの年齢は。

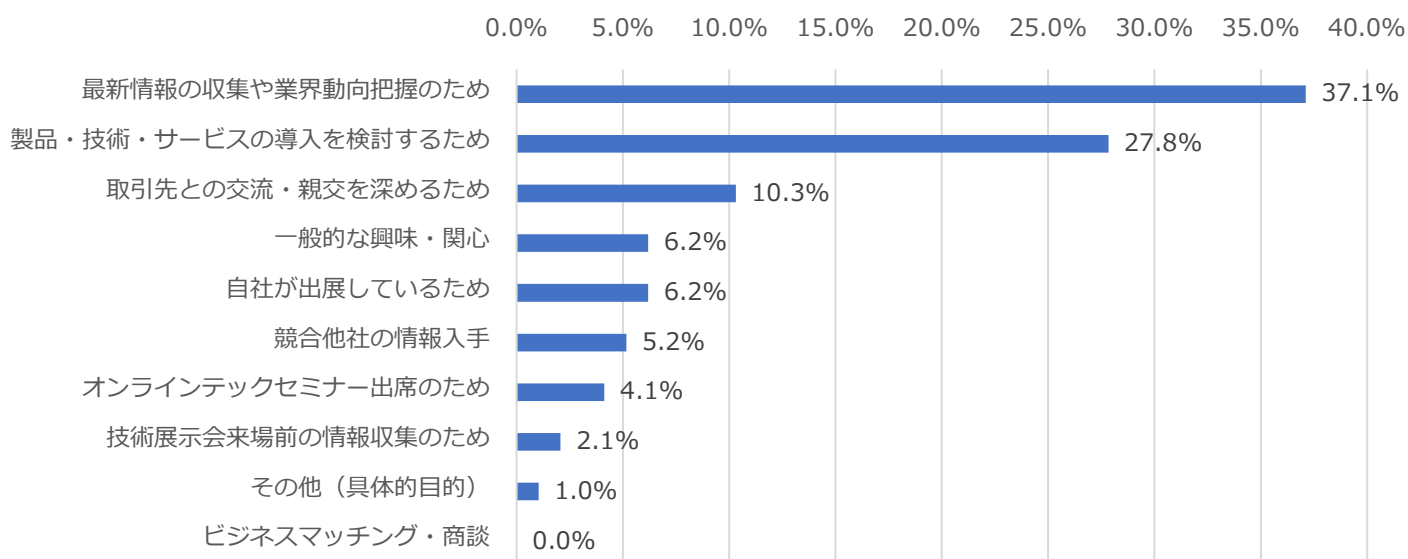


F7 勤務地はどこですか。

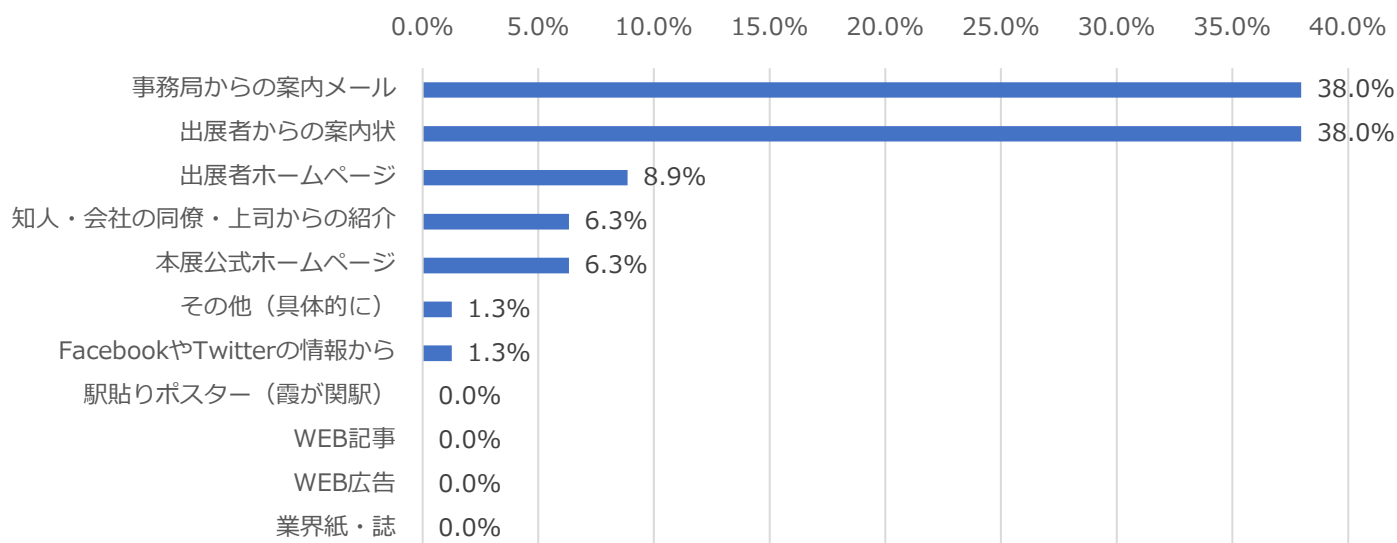


オンライン来場者アンケート集計結果 (50人)

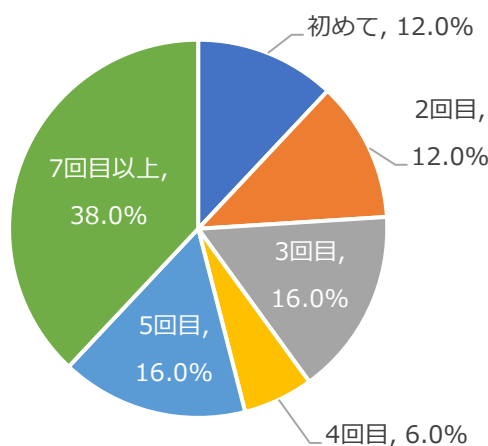
Q1.本展に来場（閲覧）された目的は何ですか。（複数回答可）



Q2.本展を何でお知りになりましたか。（複数回答可）

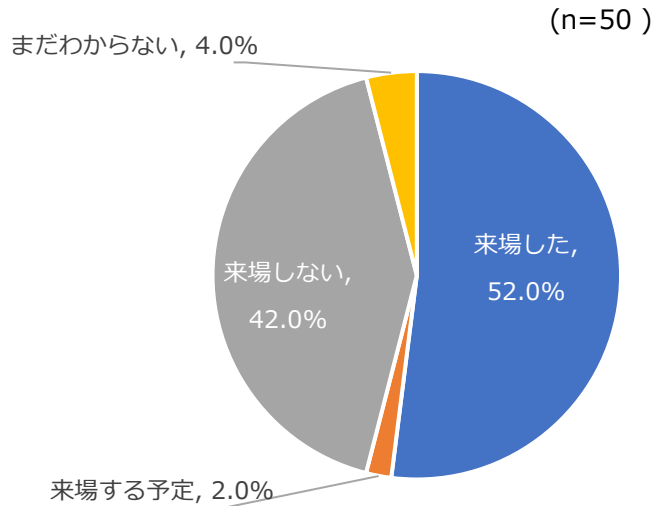


Q3.過去を含めて本展への来場頻度をお聞かせください。

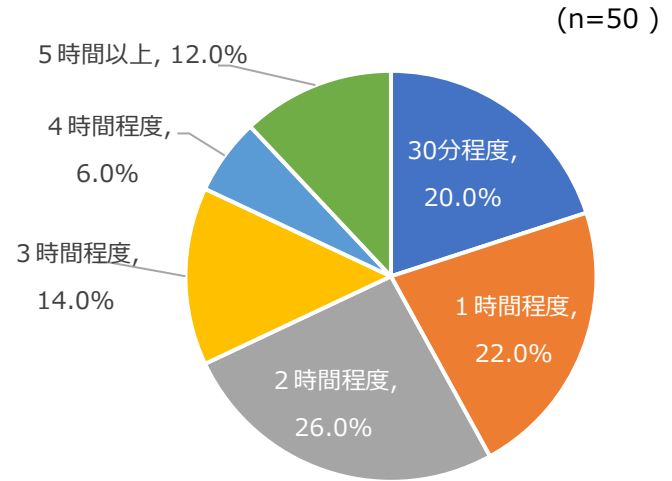


(n=50)

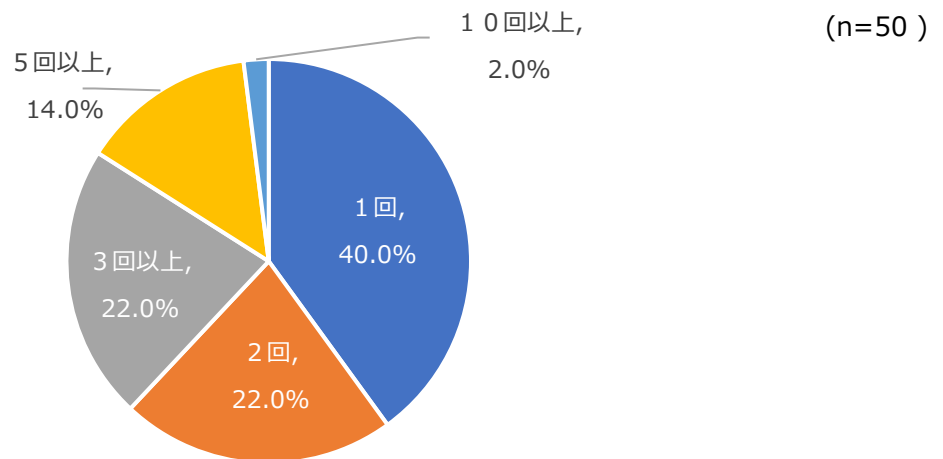
Q4. 技術展示会（リアル展示会）にも来場されましたか。



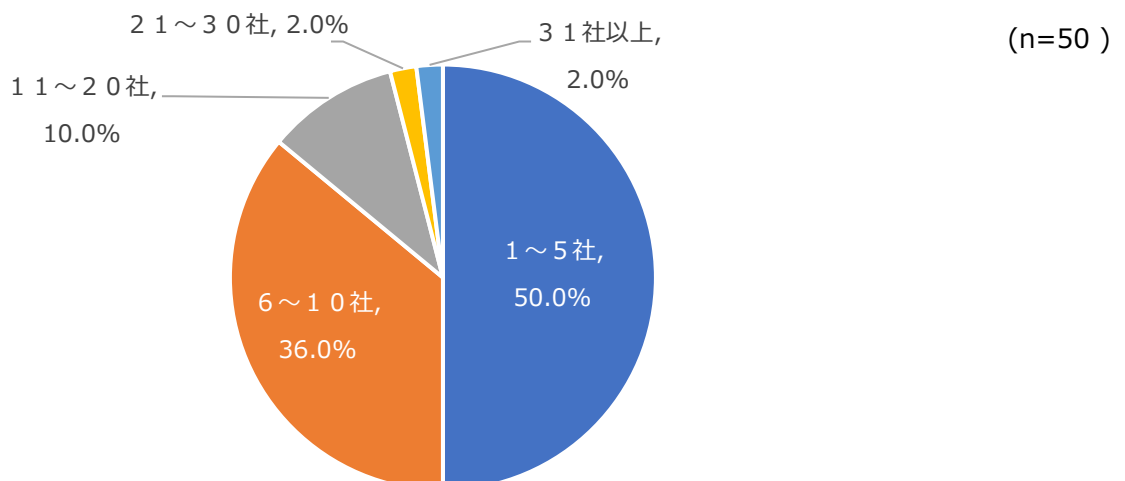
Q5. 1回の来場につき本展をどのくらいの時間ご覧になりましたか。



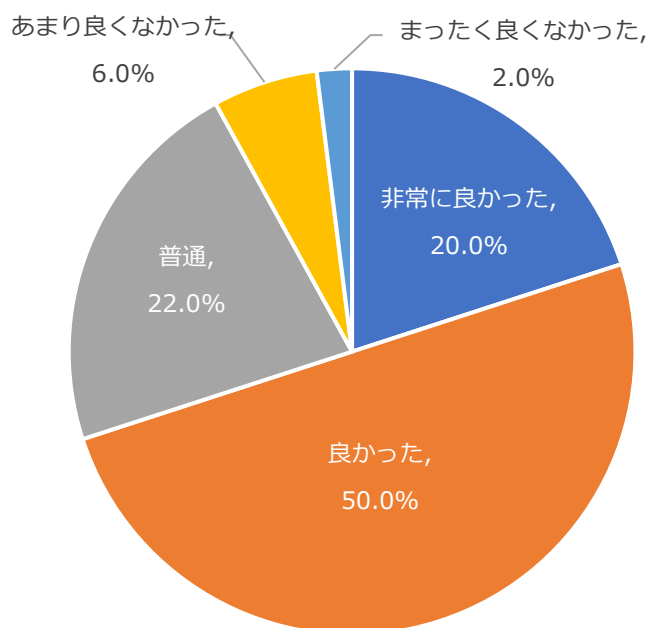
Q6. 開催期間中（7月13日～9月16日）に何回来場されましたか。



Q7. 開催期間中（7月13日～9月16日）に何社訪問されましたか、または何社訪問する予定ですか。



Q8.本展をご覧になった印象をお聞かせください。



非常に良かった、良かったと回答した理由

- ・リアル展示会ならではの情報量、展示する会社の雰囲気含めて知ることが出来ました
- ・リアル展示会で見逃した、聞けなかった技術を見ることができた
- ・リアルで来場できなくても業界動向が把握できる
- ・会場にはなかなか足を運ぶ時間がとれない
- ・興味深い内容でした
- ・知りたいことが見つかった
- ・最新技術動向が一目で理解できる
- ・主に、放送業界の最新動向の確認することが目的であるが、同時にその動向による新技術の確認も出来、良かった
- ・また、オンラインとなったことにより何度も確認できることもあるので、良かった。これからもより良い展示会を期待しています
- ・充実していました
- ・会場で見れなかったものをオンラインで見れたし、会場で見れたものも再度復讐できた
- ・多数のブースがあり、各社テーマを決めて出展してため
- ・技術者と話ができて、導入イメージを得ることができた
- ・最新の技術が分かった
- ・業界最先端の機器の勉強になった
- ・昨年からのアップデートや最新の技術動向が直に確認出来て、よかった
- ・会場内を歩いて各ブースを巡っている感じが、以前の訪問を思い出させてくれて楽しく観られました

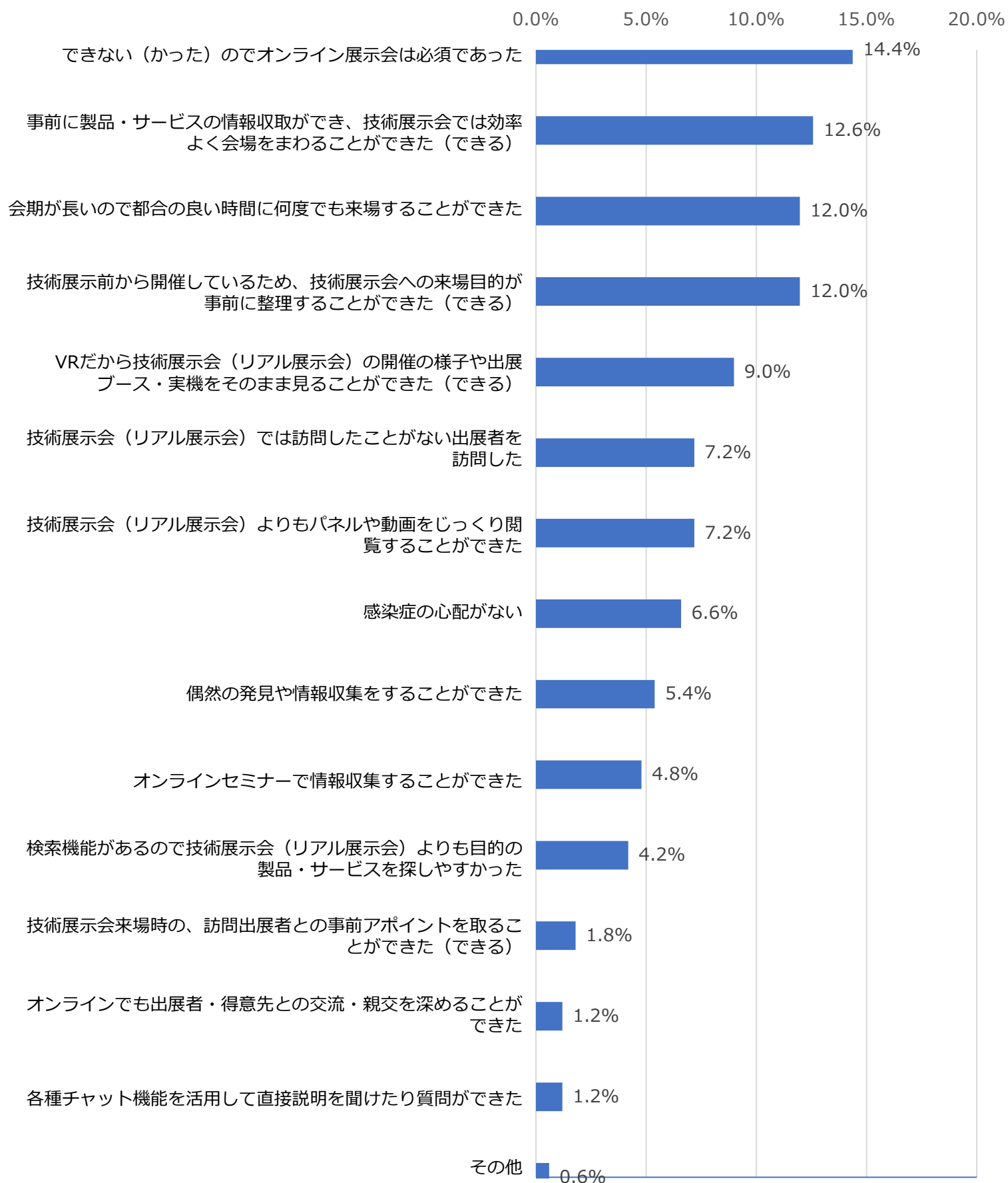
普通と回答した理由

- ・webの場合は、資料を参考にする程度になっている。当然仕方ない事だと思いますが・・・
- ・でもその資料から必要な事を直接担当者に連絡を取れるので問題ございません。なので印象は、普通にしました

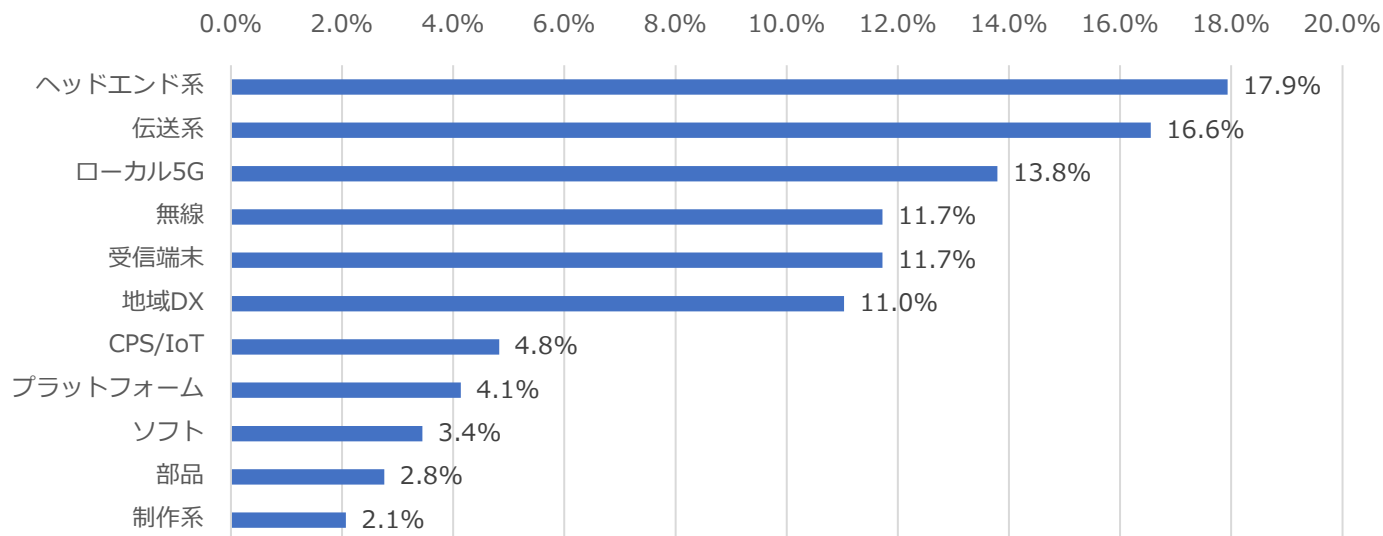
あまり良くなかった、まったく良くなかったと回答した理由

- ・バーチャルは展示物がはっきり見えず内容がわからないブースが多数あった
- ・一方的な話になる。セミナーが受講できない。質疑応答ができない。実機が見えない。検索が思うようにできない
- ・VRで各ブースが見にくかった

Q9.本展の良かったところをお聞かせください。(複数回答可)



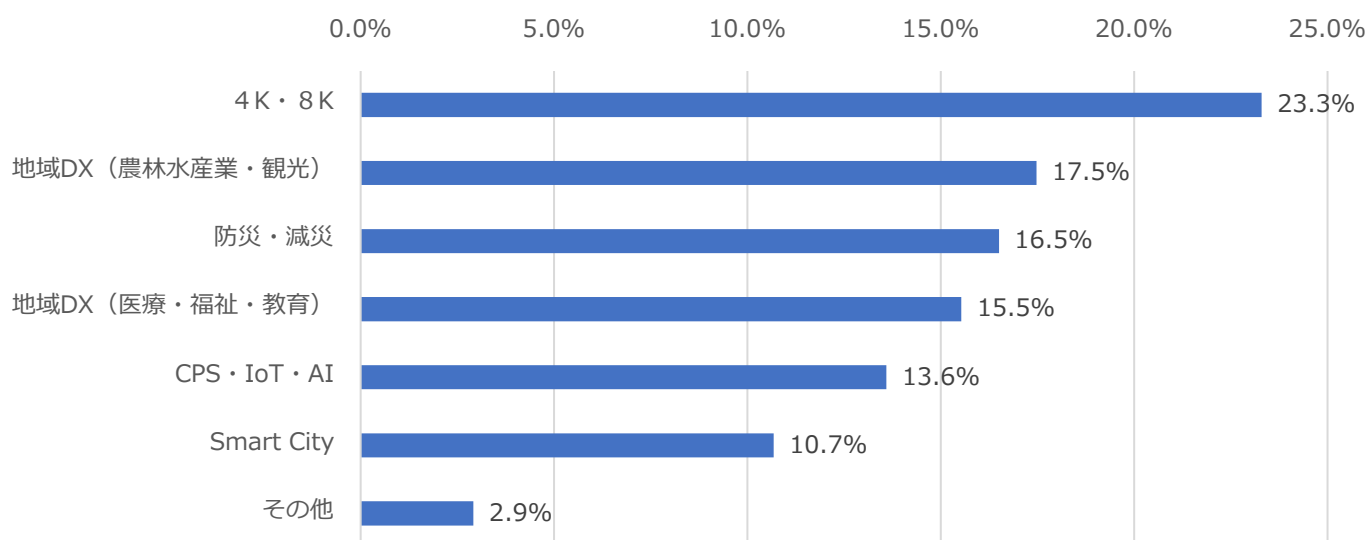
Q10.興味を持った出展内容・分野は何ですか。(複数回答可)



選んだ理由

- ・会社でも上記の分野に力を入れているため
- ・業務に活かせる
- ・今必要な情報だから
- ・ケーブル技術と5Gがどのように連携されかの興味があったため
- ・これから導入を検討する機器が展示されていたから
- ・自社取扱い予定
- ・一番顧客に近い機器のため
- ・仕事に関係しているため

Q11.興味を持った出展内容・分野は何ですか。(複数回答可)



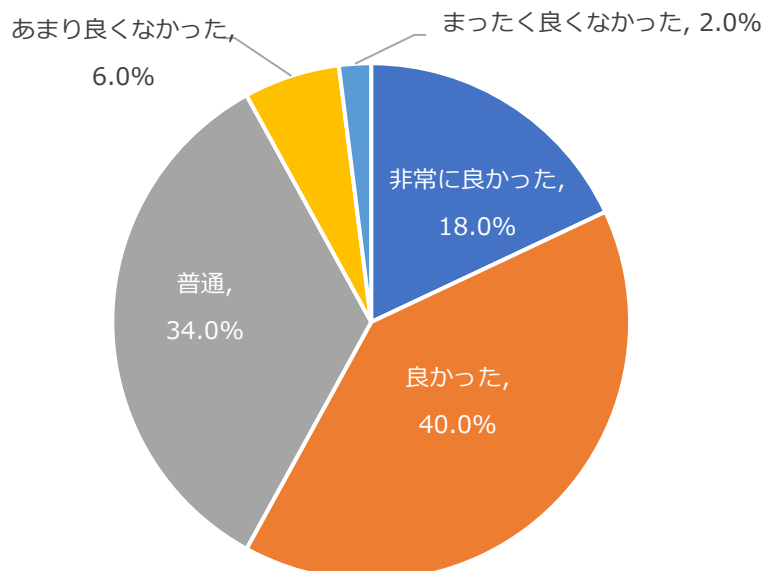
その他

- ・プラットフォーム
- ・地域振興にケーブル技術がどのように貢献できるかに興味を持った

Q12.印象に残った出展ブースとその理由をお聞かせください。

- パナソニック コネクト
 - ・ 参考出品STB
 - ・ STBを活用した視聴状態収集クラウド/可視化
 - ・ 光伝送システムとNHKスポルティクスのAIカメラ
 - ・ コミュニケーションの未来当社がパナソニックのSTBを採用しているので将来の新たなサービスを模索していたので
- NHK放送技術研究所
- 全社ともテーマに沿った展示が多く、各社それぞれが印象に残った
- 古河電気工業/イツ・コミュニケーションズ/ミハル通信
共同開発・実証実験された、同軸インフラを光インフラへ移行加速させるソリューションについて、大変興味を持ちました。共同アンテナ施設を管理しておりますので、参考にさせて頂きたいと思います
- APRESIA Systems
 - ・ 次世代PONは価値があった
- 華為技術日本
 - ・ 次世代PONは価値があった
- 古河電気工業
 - ・ 取引先のため
- 日本インターネットエクスチェンジ
- シンクレイヤ
 - ・ 後継者が積極的で、業界を元気にしてくれるのではないかと期待できる
 - ・ ハイブリッドキャストに興味がある
 - ・ シンクレイヤ独自のビジネス戦略を立てて、邁進しているのが感じられた
- 伊藤忠ケーブルシステム
- DXアンテナ
 - ・ 仕事で関係性があるので
- ミハル通信
 - ・ 仕事で関係性があるので
- マスプロ電工
 - ・ 仕事で関係性があるので

Q13.主催者テーマ展示・主催者企画ブースをご覧になった印象をお聞かせください。



選んだ理由

●非常に良かった、よかったと回答した理由

無電柱化の取り組みが良く理解できた

興味深い内容でした

各テーマに沿って来場者にわかり易い展示や説明を行っていた

無電柱化の業務を担当したこともあり、その動向については気になっていましたので、参考になりました

新しい話題の取り組みが多くてよかった

●普通と回答した理由

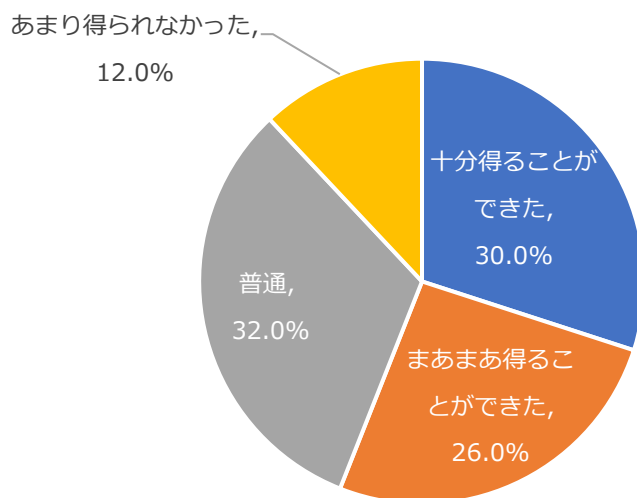
実際に会場に行っていないので何とも言えず、普通と思います

主催者コーナーは拝見できていない

●あまり良くなかった、まったく良くなかったと回答した理由

聴きたいツボが確認できない

Q14.出展者・主催者テーマ展示のコンテンツ（画像・動画）から 必要な情報を得ることができましたか



●十分に得ることができた、まあまあ得ることができたと回答した理由

- ・動画が分かりやすい
- ・興味深い内容でした
- ・目的としていた最新技術動向の情報収集が十分にできた
- ・参考資料がダウンロードでき、その後の確認等がしやすかった
- ・事前に出展内容を知ることができたため
- ・説明がわかりやすい
- ・動画で詳しい説明をされていたのでわかりやすい

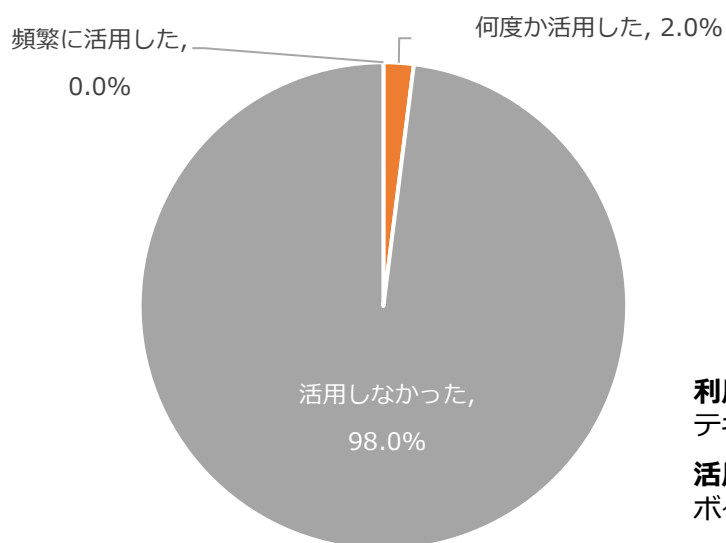
●普通と回答した理由

- ・限られた容量の問題もあり、この位が妥当と思う
- ・動画も長すぎてもダメだとおもうので

●あまり得られなかったと回答した理由

- ・テーマの選出がいまいち
- ・内容が限定的

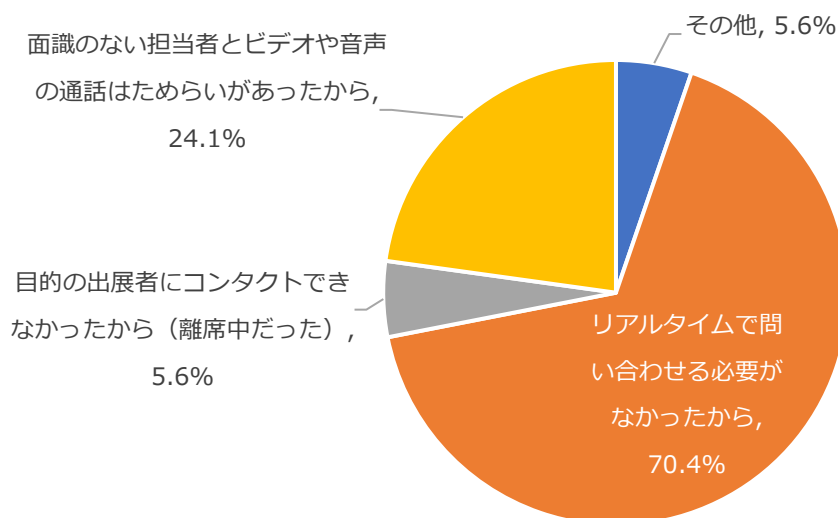
Q15. 今回コミュニケーション機能（各種チャット）をご活用されましたか。



利用した機能
テキストチャット

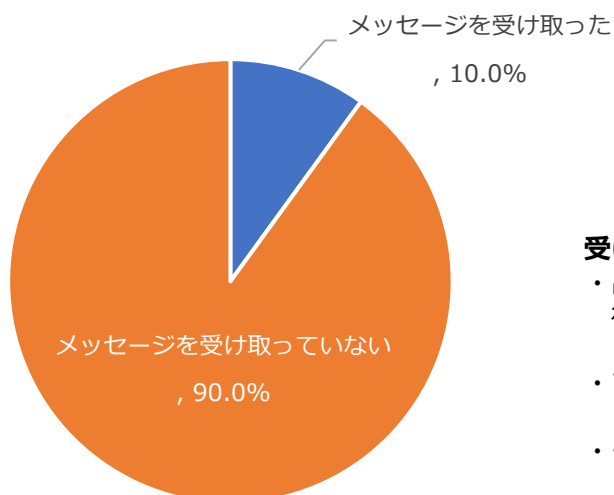
活用した感想
ボタン一つでつながるのは便利であった

活用をしなかった理由



その他
チャットでは時間がかかる

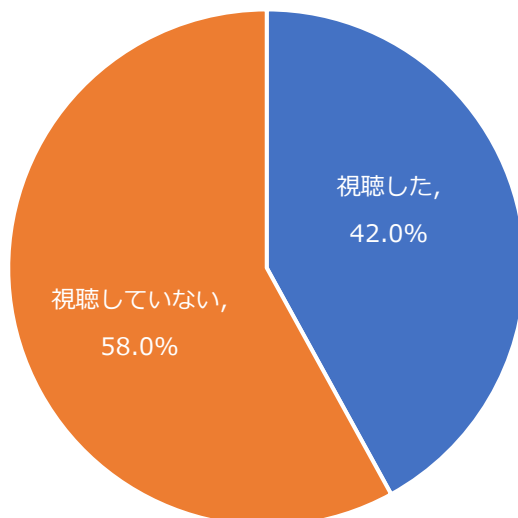
出展者から来場者へのメッセージ送信機能が今回から追加されました。出展者からのメッセージはありましたか。



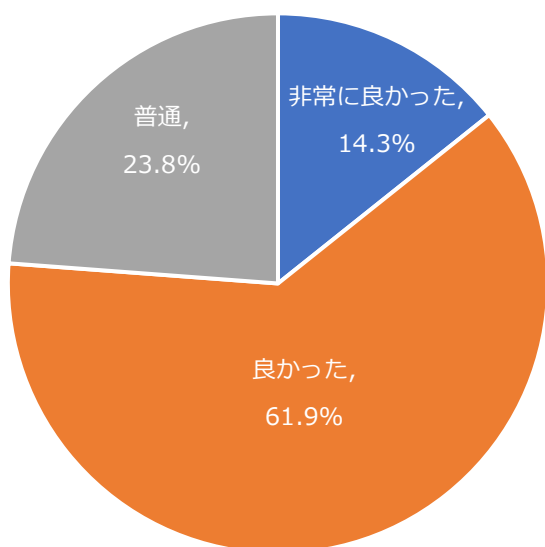
受け取った感想をお聞かせください。

- ・出展者とのコミュニケーションのきっかけになり、その後のコミュニケーションがスムーズに行えた 1件
- ・すぐに用件に入ることができて、便利だった 2件
- ・その他 1件

Q16.テーマ別動画ツアーを視聴されましたか。



視聴した印象



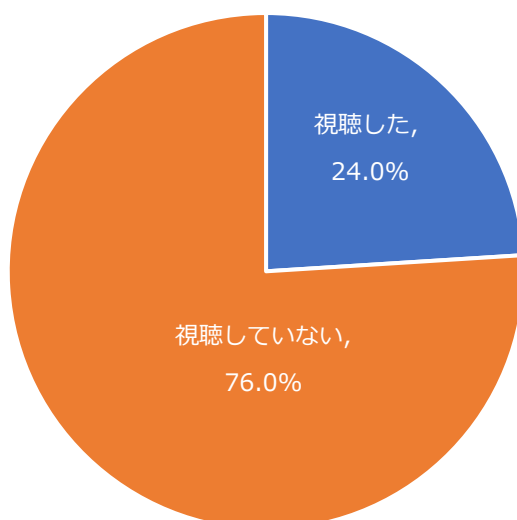
●非常に良かった、良かったと回答した理由

- ・直接ブースの様子が分かった
- ・リアルと違い、担当者がすぐ捕まる
- ・興味深い内容でした
- ・ある程度だが参考になった
- ・分かりやすかった

●視聴しなかった理由

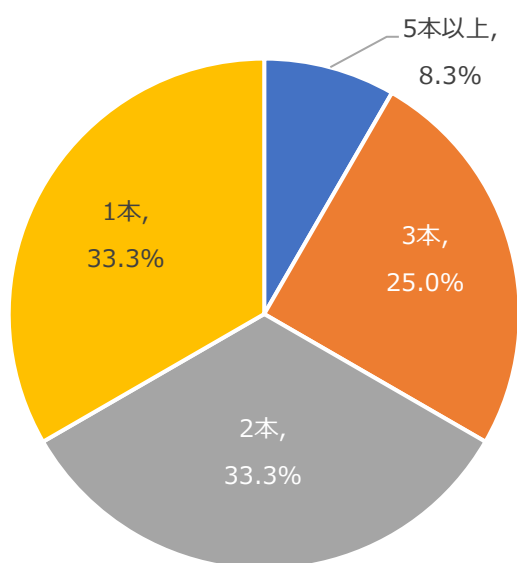
- ・あることを知らなかった
- ・今後視聴予定
- ・アンケート回答時点で、知らなかったから
- ・特に見なくてもいいと思ったから
- ・時間がなかった
- ・動画の見方が分からなかった
- ・あまり興味がなかった

Q17.オンラインテックセミナーを視聴されましたか



オンライン来場者アンケート集計結果 (50人)

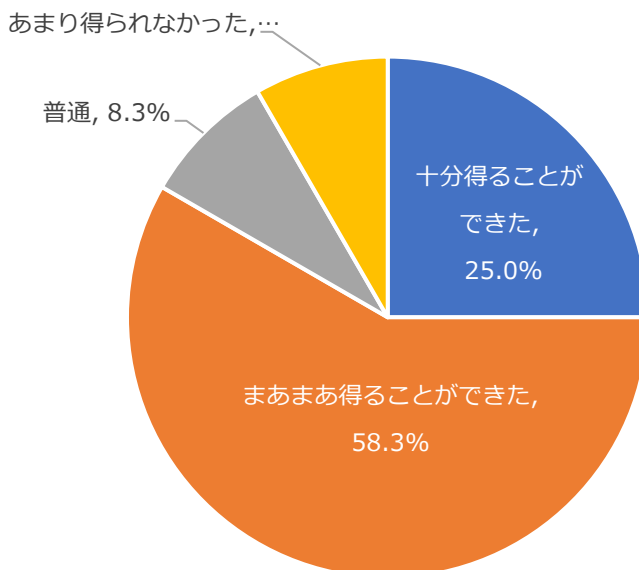
何本視聴されましたか。



● 得ることができたと回答した理由

- ・興味深い内容でした
- ・時間の都合で全てのセミナーを視聴できなかった
- ・有意な内容だったから
- ・知っていることだった
- ・じっくり聞く事ができた

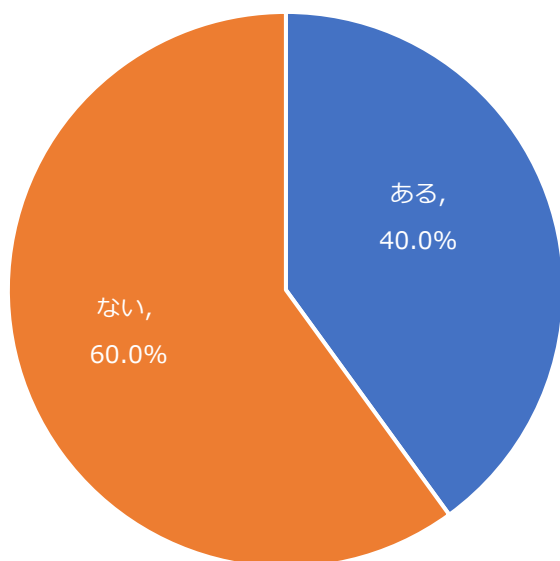
オンラインテックセミナーから必要な情報を得ることができましたか。



● 「視聴していない」理由

- ・アンケート回答時点で、時間がなく視聴していないから
- ・タイミングが合わなかった
- ・興味があるものがなかった
- ・時間がない
- ・場所がわからない
- ・知らなかった
- ・必要が無かったから

Q18.これまで本展以外のオンライン展示会に来場したことはありますか。



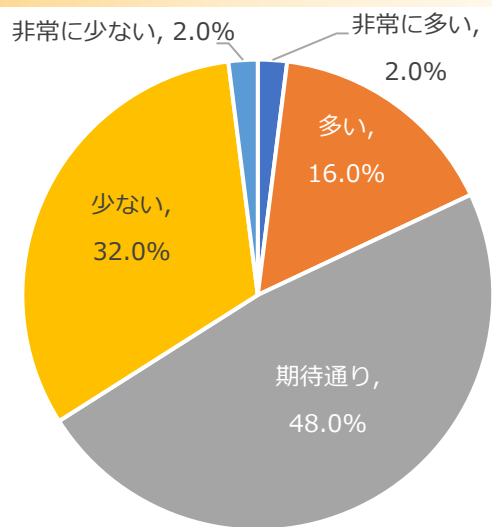
● 展示会名

- Inter BEE
- ITトレンドEXPO
- 電設工業展
- Interop
- CEATEC

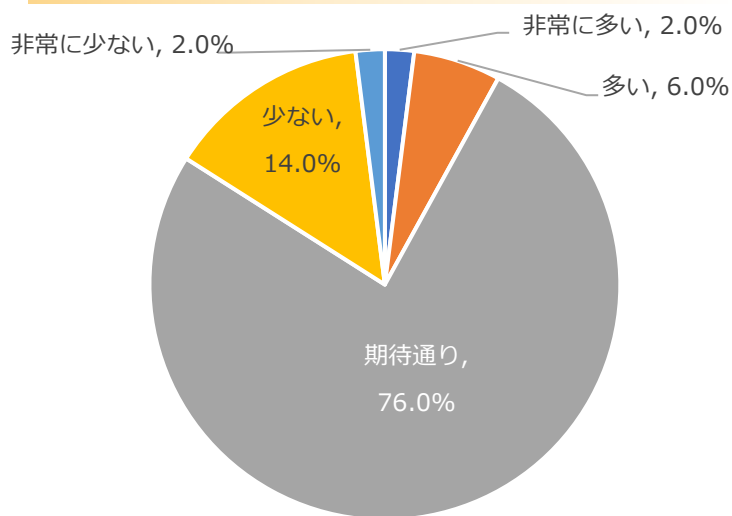
オンライン来場者アンケート集計結果 (50人)

Q19.本展の印象をお聞かせください。

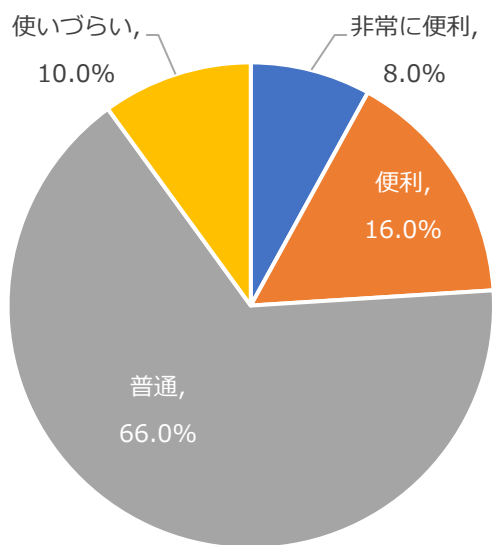
出展者数



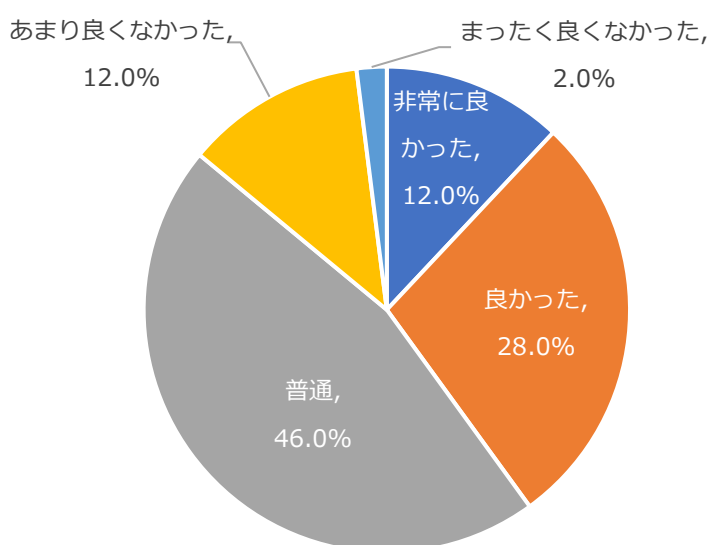
コンテンツ（画像・動画）について



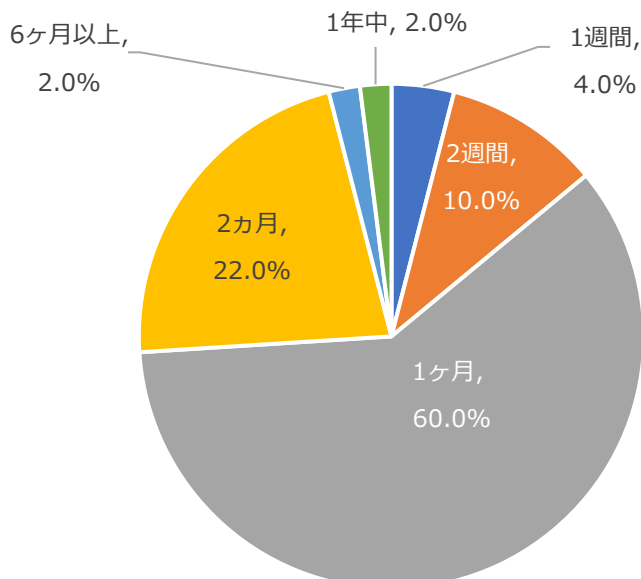
コミュニケーションツールについて



全体の操作性、見やすさ、VRについて



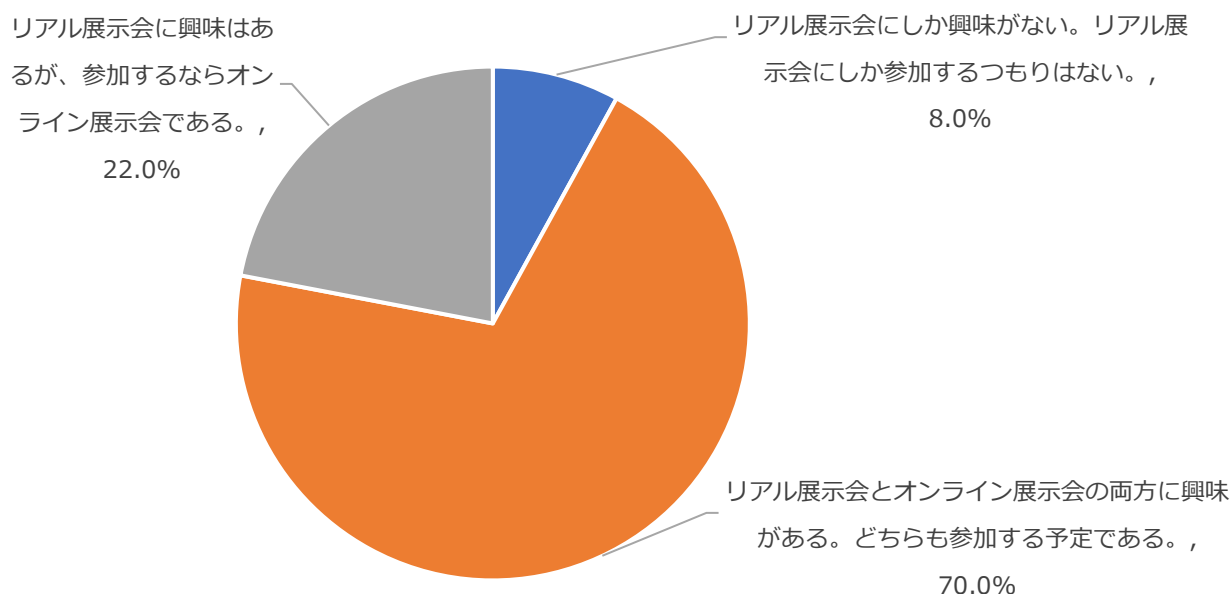
Q20.オンライン展示会の適切な開催期間はどれくらいだと思いますか。



Q21. 本展に足りないものや改善点、ご要望があればお聞かせください。

- ・ブースの端が見えないことがある
- ・オンライン展示会で、ダウンロードする参考資料がないこともあったので、少し残念ではあった
これからもより良い展示会を期待しています
- ・展示物の閲覧について、VRだと拡大するのに限界があり、ぼやけて読み取れなかった。展示物がはっきりと
見られるようになると良い
- ・娯楽的要素
- ・動作が快適になればなお良い
- ・VRの解像度がもっとよければ、そのまま画面をズームして内容がわかるのになと思う
各ブースが無人となっているが一人でよいので、配置してほしい
アバターならなお良い、アバターと会話しながら展示物を見るというのも良いと思う

Q22. 今後の展示会への来場についてお聞かせください。



次回開催予定

会期：2023年7月20日（木）～21日（金）

会場：東京国際フォーラム